京城日報

四月九日夕刊
（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價　▲一部金五錢▲一ケ月金五十錢▲新税一ケ月前金一圓五十錢▲三ケ月分金四圓▲郵券代用は二割增
廣告料金　▲五號活字詰一行金八十錢▲七號字詰一行金六十錢
發行兼編輯人　奧田　直毅
印刷人　小川　三之介
發行所　京城太平通二丁目　京城日報社

◎獨、佛軍を撃退す

聯合軍に取りて重大事

四日獨軍は二十個師團を用ひ其の內十五個師團はソンム南方に於ける佛軍を攻撃せるが佛軍はアーヴル、ルユース兩河に據りて形成せられし突角より撃退されたり尚アミアンを掩護せる聯合軍陣地は同市より距離遠からず　されば些少の陣地喪失も極めて重大なり（倫敦電報）

◎露支兩國誤解々決

今回露支兩國間に協定成り總ての誤解解決を告ぐ（北京電報）

◎米國毛織物機徴發

米國政府は軍隊の制服を作らんが爲め七月一日迄に全國の毛織物機を徴發すべしと（紐育電報）

◎英將校へ賜勳

晃き邊にては日獨戰役に際し日英兩國の海軍共同作戰其他に參與せる英國海軍大將バッテンバーク殿下以下六十九名の將校に對し勳一等旭日大綬章以下夫れ〳〵御贈勳の御沙汰ありたり（東京特電）

□東宮殿下還啓

豫て京阪御見學中なりし東宮殿下には御豫定の如く八日靜岡御用邸に御一泊九日午前九時二十分靜岡驛御發車午後二時十分東京驛御著車　兩陛下勅使、御使、兩皇子御使三好傅育官長等其他の奉迎を受けさせられ御氣色麗しく東宮御所に還啓あらせられたり（東京特電）

◎伏見宮殿下實業家御招待

伏見宮貞愛親王殿下には實業御奬勵の思召を以て九日正午全國の代表的實業家四十餘名を紀尾井町御本邸に御召の上午餐會を催ほされ終りて別室に於て產業に關する談話を聞召されたり（東京特電）

◎三菱組織變更

三菱合資會社の第二次組織變更は豫て審議中の處愈々此程決定せるが先づ營業部の業務を獨立せしめて三菱商事株式會社とし鑛山部及炭坑部を合併して三菱鑛業株式會社とす可く何れも五月一日より獨立營業開始の事に內定し近く社員總會を開催し重役を決定す可しと（東京特電）

一氏は八日午後六時半安東通過內地に向へり（安東特電）

◎赤十字救護員派遣

日本赤十字社にては今回英、佛、伊の三國赤十字團慰問繃帶其他衞生材料寄贈の爲め一國二名宛の救護員を派遣し且つ各國に於ける戰時救護事業を視察せしむる爲め本社理事一名及び隨員を特派する由

◎戰後の計に思を馳せよ

今が工業界の最盛期＝粗製濫造は禁物

工學博士　西川虎吉氏談

撫順に於ける硫酸アンモニヤ工場視察の爲め八日夜九時南大門通過北行したる九州工科大學教授西川工學博士の車中談に曰く

日本工業界が歐洲戰亂の影響を受けて驚くべき勢を以つて勃興した事は否むべからざる事實である、我九州の如きも開戰以來此趨勢に刺戟せられ大小の工場が恰かも雨後の筍のやうに簇出した、之が爲め俄かに職工の需要を增し、職工は幾ら居つても足らぬと云ふ有樣でそこで各工場共奪ひ合ひの盛況であるが御陰で職工成金も尠くない

▼工業が隆盛　になれば自然商業も繁昌する譯で各地共却々に景氣が好く內地は今や黃金時代を現出して居る戰亂は何時終熄するか容易に局を結び相な模樣も見えぬが先づ夫迄は日本の工業も相變らず隆盛を持續し各種の新企業が續興するであらう、但し玆に聊か研究せねばならぬ事は今後の工業界が果して大正五六年頃のやうな好況を呈するか何うかと云ふ事である、既に今年の如き大正六年に較べると同じく隆盛と云ふ內にも其程度に幾分の差がある樣である、尤も之は事業其物の性質にも依るが今年は昨年に較べると第一原料が高くなつて居る其上

▼石炭も高い　勞銀も高い船腹不足の關係から運賃も非常に騰貴して居る、夫れ丈從來よりも餘計に經費が膨脹した譯であるがと云つて製品を無闇に高く賣りつける譯にも行かず結局經費の膨脹した丈利益が尠なくなつた勘定である、折も折日本に取つて最も大切な得意先たる亞米利加は輸出入制限令を發布して禁止品の種目を增した、之は我工業界に取つては非常な打撃で殊に陶器工業の如きは其程度が一層甚だしからうと思はれる、從來我國から合衆國に輸出して居た陶器は莫大なものであるが之が今度の制限令絶對禁止品となつたのであるから可哀相である、此外麥稈眞田であるとか

▼經木眞田で　あるとか乃至眞具類のやうなものも打撃を受けるであらうが然し之が爲め日本の工業が全然丸潰れになる譯でないから折角勃興した工業熱が急に冷めるやうな事はあるまい、否却つて此打撃の埋め合せとして他の有利な工業の新興を見るであらうし又然うでないとした處で合衆國以外の地に多少でも販路を開拓する事になるであらうが前に云つた諸式の高騰は獨り日本のみに限らぬ世界的趨勢であるから戰後と雖も恐らく容易に回復すまいと思はれる、日本の工業界が何時迄隆盛を持續するか固より今俄かに之を逆睹する事は出來ぬが予の見る處では精々戰後兩三年位のものではあるまいか其間には交戰各國も略ぼ

▼國力を恢復　し之迄休止狀態にあつた諸種の工業も恐しい勢で勃興して來るであらう愈々其曉は日本の工業界も決して今日の如き隆盛を持續する事は出來まい、だから事業家は總て眼前の利にのみ迷はず思ひを遠く將來に致し今に於て壓倒せられぬやう勢力の根を植ゑつけておく覺悟が肝要であるが悲しい哉、日本の事業家に斯樣誠意のある者は餘り居ない大部分金に趣味を持つて居るので事業を生命として居らぬ、儲かるを好い事に遊蕩三昧、贅の限を盡して既に成金振りを發揮して居る者は多くとも永遠の計を樹てゝ居る者は

▼指を折る程　しかない、斯麼事で戰後迄工業界が持ち立て行けたら御物である、一時外國市場では日本品は粗製濫造の親玉として擯斥され『メード、イン、ジャッパン』の貼札あるものは甚だしく不評判を招いた事がある、此粗製濫造の由つて來る所以は何かと云へば詰り前にも述べた如く日本の事業家に誠意がない結果である、所謂金に趣味を持つて事業を生命として居らぬから後は何うならうと儲かれば好いと云ふので成るべく短い期間に少しでも多くの品物を賣出さうとする凡て眼中國家もなければ體面もない之では自然

▼粗製濫造に　流れる譯である固より營利事業であるから無論儲けねばならない儲ける事は無論必要であるが唯だ眼前の利に走つて國家を傷け他の眞面目な事業家に累を及ぼすに至つては言語道斷と言はねばならない、近來は農商務省に於て輸出品に對する檢査を行ひ不合格品は絶對に輸出を許さぬ事になつたから粗製濫造品も自然影を絶つたが檢査を受けねば輸出する事が出來ぬなどは事業家の一大恥辱と云つても宜からう、夫れは兎も角として要するに日本の工業は此兩三年が最盛期である、工業家は須く緊褌一番戰後に備へるの覺悟がなくてはならぬと思ふ

◎南滿興業總會

貴族院議員荒井泰治氏を委員長として創立計畫中なりし南滿興業會社（資本金三百萬圓）は八日午後一時より帝國鐵道協會にて創立總會を開き左の諸氏を重役に擧げたり猶同社は本店を大連に設け東京に出張所を置く可しと（東京特電）

社長荒井泰治▲取締役大橋新太郎、中隆太郎▲取締役兼事務取締役高木九一平、林愛作、相生由太郎、阪田國彥▲監査役山田順治、八十島親德、藤崎三郎

◎奉天市場變調

兌換停止問題は其後日支委員に於て屢々會見を爲しつゝあり八日履行委員會見の模樣に據れば問題は愈々切迫せるもの丶如く爲めに市場は大混亂を來し奉天洋票は八日午前金に對し百三十四圓臺なりしもの午後に至つて急轉直下遂に九十八圓五十錢の大暴落を來し市中は一般に警戒中なり（奉天特電）

◎組合議員辭職

八日馬山學校組合會議にて理事者と議員との間に於て高等女學校問題に就き衝突し原案否決の後議員一同辭職せり（馬山特電）

◎野澤旅團長歸任

野澤旅團長は八日午後九時三十分歸任せり（安東特電）

◎久保田參事北行

久保田鐵道院參事は九日午前七時半安東通過北行せり（安東特電）

◎露公使館書記官

北京駐剳露國公使館一等書記官グーラ

◎定例長官會議

九日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督臨席各部長官局長等參集諸般の政務に就き審議する處ありたり

◎米國發電注意

米國經由中央及び南亞米利加著電報の名宛は完全に記載するを要し暗號及び略號の名宛は使用し得ざる由に付一般の注意を要すと

◎麥作は良好

朝鮮全道の麥作狀況に付某專門家の推測を聞くに一月の酷寒稍ゝ劇烈に過ぎしも麥の生育狀態に於ては多くの支障を與へ居らず相當の芽伸びを見居れり唯最近稍干燥に過ぐる觀ありしも兩三日前の降雨にて其の濕潤に於て申し分なかるべく目下の所何等其の作柄を悲觀すべき材料なしと

◎當分は拂つた犠牲を埋るのさ

限外發行が限內發行に變じ二十一日より莫大な利得ありとの世評に對し

鮮銀某重役語る

第四十議會を通過した朝鮮銀行法改正案は多分來る廿一日から實施されるであらう、其の結果現在鮮銀の保證準備發行制限三千萬圓は

▲五千萬圓　に擴張される譯で差し向き昨今の制限外發行たる八百二三十萬圓は二十一日から限外の二字を取り去つて限內の保證準備發行に變化して行くのであらう、さうなると鮮銀の利得はヅシリと殖ゑる何故と云ふに限外發行は總督府の許可を經るを要し更に法により年五分の發行稅を納めねばならぬ事となつてゐる、乃で假りに九百萬圓の限外發行をして居れば朝鮮銀行は年に四十五萬圓の發行稅を納めねばならない、然るに二十一日から此の發行稅を出さずに濟むとすれば鮮銀はそれだけ

......と云つても四十五萬圓は大きい......利得する譯だからである

▲一重役　を訪うて談餘二十一日から保證準備發行限度擴張により鮮銀に轉げ込む利益の莫大な事を云ふと、某重役は急所を衝いて來てる......てな顏をして曰く『成程改正法が二十一日より施行されれば大體に於て目下の限外發行は限度內に繰ゐるであらう、然し鮮銀の利得は局外で計算する程ボロくはない、何故なれば去年の十二月以降鮮銀は可なりな犠牲を拂つてゐるからである、乃ち十二月一日より滿洲に於ける正金銀行の金券の引繼ぎを受けたれど、正金の特權たりし保證準備發行の三百萬圓は讓り受けなかつた、そこで鮮銀は昨冬より今日まで引續いた

▲限外發行　中の三百萬圓は滿洲金券の統一を行た爲......やなければ出さずに濟んだであらう......五分の發行稅を納めて來てゐる、結局今日まで納めた其の發行稅は一面より見ると鮮銀の拂つた犠牲である、それだけ損をした形である、其の犠牲其の損を今回の保證準備發行の擴張によつて埋めるので差引き幾何の利益を下半期に殘すかと云へば精細な計算を示す譯には行かぬが大したものにはならない、左樣

▲下半期以降　にはそこに相當の利得は生れやうが議會で勝田藏相や森局長が說明してゐるやうに、鮮銀には貸上金や古い關係の第一銀行に對する低資融通などがあつて世間で表面ばかり計算せるやうに莫大な利益が擧る譯ではないのである』

◎增資未定

三島鮮銀理事談

內地新聞には既に朝鮮銀行現在資本金二千萬圓を四千萬圓に乃ち倍額增資の內定說を傳へ居れる由なるが目下の所何等重役の間に問題となり居らず又問題となす時期にも非ざるなり何となれば前日の京城日報にも報じたる如く昨春增資せし一千萬圓の第三回拂込は最近終了せしのみにして未だ未拂込二百五十萬圓を剩し居るに付現在に於て增資を決行せんとするも到底當局の認許を受得ざるは勿論とす唯增資をなすや否やは姑らく措き第四回拂込みを遠からず徵するや否やの問ひに對しては予等も熟考中なるが未だ決定し居らず假りに近く徵收するとするも其の終結までには相當の時日を要するあり又增資は財界の狀勢も大に參酌せざる可からず旁々目下の所增資の實行は增資額も其の時期も全く未定と申すの外なし

◎特旨進位

既に退職せし總督府判事淺見倫太郎氏は從四位に又逝官せし大邱府尹竹崎六次郎氏は從六位に何れも特旨を以て位一級を進められたり

◎客月貿易

出入總額千八百九十萬

三月中の朝鮮貿易額は輸移出品價額九百五十七萬一千餘圓輸移入品價額九百三十三萬餘圓合計一千八百九十萬一千餘圓にして前年四月に比し輸移出三百六十三萬四千餘圓輸移入二百二十二萬八千餘圓合計五百八十六萬二千餘圓を孰も增加せり次に一月以降累計貿易額は輸移出二千八百六十萬四千餘圓輸移入二千六百二十萬六千餘圓合計五千四百八十一萬一千餘圓にして、出入の差額は二百三十九萬八千餘圓を計上し

▲之を前年同期に比較　するときは輸移出一千百五十八萬八千餘圓輸移入九百二十二萬五千餘圓合計二千八十一萬三千餘圓出超額二百三十六萬三千餘圓の各增進を示せり次に出入貿易の內容に就き前年同月と比較觀察するに輸移出に於て米は露國向全然杜絕せしに拘はらず支那向の好況を告げしと內地向に於て各地市場在荷薄に基き引續き鮮米の需要を促進せしとに因り結局增加額數量二萬餘石價額百四十四萬七千餘圓を計上し小麥及び豆類は內地市場に於ける外國產品の輸入減に伴ふ代用補充と

▲海外輸出の活況等より　相俟ち專ら需要盛況を呈し爲に前者二十三萬三千餘圓後者十三萬五千餘圓を增進せしのみならず其の他棉花に五十萬五千餘圓繭に五萬三千餘圓煙草に九萬五千餘圓生牛に十四萬二千餘圓等增加の著しきものありしに反し減少せしは重石鑛の四萬九千餘圓皮革製品の五萬三千餘圓等に過ぎざりき要するに本月の輸移出貿易は鑛產品に於て幾分不振の趨向を現出せしに拘はらず農產品の市況依然活躍せし結果前記の激增を示せるものにして本月に於て何輸移出超過を持續せるが如きは蓋し異例とするところなり輸移入にありては引續き米價高の折柄

▲漸次外米及び滿洲粟　の輸入を見るに至りしを以て米に十五萬三千餘圓粟に十七萬一千餘圓を增加し綿絲布類に於ては昨秋來移入暢況の後を受け在荷潤澤の關係にて綿絲に十萬二千餘圓の減少を告げたる外綿布類は地方財界の好況と內地市況の硬調に因る思惑移入の結果生金巾類に三十二萬二千餘圓天竺布に五萬五千餘圓日本木綿に七萬六千餘圓を孰れも增加し加之事業用品の入荷依然旺盛にして熟鐵に十四萬一千餘圓軌條及び同附屬品に十一萬餘圓諸器械に

▲四十三萬八千餘圓　石炭に二十萬四千餘圓木材に七萬二千餘圓セメントに六萬餘圓の增加額を示せしに依り結局前記の增進を示せり

◎組合委員會終了

去月二十九日及び三十日に亙りて開會せる京城學校組合會に於て委員附託となりたる諸議案は其後議員龍田、田中、大和、深水、大垣、大村、上野の諸氏委員となり愼重調查研究中のところ愈々九日を以て終了し近く本會議に移るべき豫定なるが要は委員會にて組合會提出原案に贊意を表したる一小學校新築案に對しては九日午後三時より委員及び理事者相會し之が敷地たる龍山萬月里の實地調查を爲せり

◎府協議員任命

京城府協議員十六名中白寅基金完圭二氏を除き他の十四名は既報の如く四月六日迄に任期滿了となりたるが其後任者に就ては目下當局に於て銓衡中にて六日附執行猪太郎氏一名任命せられ其他は玆一兩日中に任命を見るべしと

◎赴日記者團著期

赴日北京記者團一行十八名は十日北京出發十二日夜京城著一泊の上東上の事に決定せる旨其筋に通報ありたるが一行は孰れも支那側有力の記者團にして一行著京の上各方面に於て歡迎會等の催ほしあるべく目下寄々協議中なりと

◎釜屋武官歸任

佐世保へ出張中なりし總督府附武官釜屋海軍少將は八日夜九時南大門驛著列車にて歸京したり

◎岡本技師出張

遞信局工務課長岡本桂次郎氏は八日午後釜山鎭へ出張せり

◎訂正　九日附八日夕刊一面社說鮮人官吏給令改正要旨に關する記事の末段に勅令第二十二號とありたるは六十二號の誤りに付訂正す

人事消息

▲熊安之助氏（水原勸業模範場技師）八日午後入京巴城館へ
▲シレン博士（ストツクホルム大學教授）八日午後入京朝鮮ホテルへ
▲中村中佐（滿鐵囑託）八日入京朝鮮ホテルへ
▲松井元山稅關長　八日午後入京前尾へ
▲金田勝次郎氏（咸興高普校長）九日朝出發赴任
▲田尻生五氏（咸北事務官）九日朝發京
▲野口次郎三氏（總督府技師）七日全北出張
▲段田豐氏（同上）七日東京府其他へ出張
▲清水武組氏（同上）九日附を以て全北管內へ出張を命ぜらる

臥床閑話

蒼洞病客

○露國革命の結果が、今日の亂世を誘發したる大原因としての一は、革命者中に、軍政的材幹を有せし政治家の無かりしに依るべし佛國革命に際しても、國王の軍隊は、崩潰され、新軍隊は烏合の衆なりしも、爲政者は直に國防の必要上、全國皆兵主義を宣傳し、且つ之を敢行せり。よしや其手段が恐嚇政治に依り、穩當を缺きしにもせよ、其結果は、見事に勇猛熟練の軍隊を得るに至れり。即ちナポレオン、ネイ、モローの如き名將は、何れも新軍隊より輩出せし傑物也。斯くて爲政者は、此の一時全歐無比の強兵なりと稱せられたる、新軍隊の助を借りて、革命の目的を貫徹せしが故に、彼の露國の如き、革命の結果を見るに至らざりし也。

○要するに佛國革命は、冷酷にして、徹腕なる公安委員が、勇猛果斷に、其秩序の恢復に努め、偉人ナポレオンの如きが出現して、武斷政治を以て、秩序を安定し、更らに其餘力を以て、全歐洲を席捲するに至れり。一方之を露國に見る、革命後の狀態や如何、其將來はもとより、容易に之を臆斷し得ざるも、佛國に比して、其行に、大なる相違あるは實際にして且つ露國の革命は、却て露國を滅亡に導くべき第一歩なりしを、何人も斷ずるに躊躇せざるべし。殊に今日傳へらる、露國內に頻發として突發する諸事件が、純露國的に非ざるに見るも、露國の將來は、世界の大なる謎たらずんば非ざる也。危險なる噴火山たらずんば幸也。

○妖怪的なる此露國革命の最終結果が、世界に至大なる影響を及ぼすは敢て言を俟たず、殊に最も直接關係の存するは、日支兩國也。吾人露國革命を見る、佛國革命と、其見地を、同くすべからざるは勿論也。

第十四回決算報告

（自大正六年一月一日　至大正六年十二月卅一日）

◎貸借對照表

資產	
郵便振替貯金	七參式・八[illegible]
銀行預金	六、壹八六、式四七・四[illegible]
貸附金	五、式〇七、壹五四・式[illegible]
有價證券	六、六六〇、四八壹・壹[illegible]
不動產	四九壹、六參四・四[illegible]
什器	六、參〇六・參[illegible]
代理店貸	九四、壹五式・九[illegible]
假拂金	四七、八〇四・式[illegible]
新築勘定	五〇、壹四七・五[illegible]
合計	壹八、七四四、六六五・〇[illegible]

負債	
積立基金	參六〇、〇〇〇・〇[illegible]
法定準備金	壹八五、八五七・七[illegible]
責任準備金	壹四、四七九、六七壹・七[illegible]
社員配當準備金	武、參四六、九五壹・武[illegible]
支拂備金	壹壹四、八壹四・九[illegible]
別途準備金	壹七五、〇〇〇・〇[illegible]
假受金	參參、〇參八・六[illegible]
身元保證金	四六、〇〇〇・參[illegible]
家屋敷金	八五〇・〇[illegible]
剩餘金	壹、〇〇武、四八〇・武[illegible]
合計	壹八、七四四、六六五・〇[illegible]

◎損益計算書

收入	
前年度繰越責任準備金	壹武、五九[illegible]〇九武・壹四
前年度繰越社員配當準備金	武、四八壹、七八參・五[illegible]
支拂備金	四〇、武參壹・武[illegible]
保險料	參、七參壹、九武參・四[illegible]
諸利息	壹、〇四壹、壹六七・九[illegible]
其他	六參、武四五・八[illegible]
合計	壹九、九四七、四四四・[illegible]

支出	
保險金	九參武、八九武・〇[illegible]
解約返還金	[illegible]
社員配當金	[illegible]
稅金	[illegible]
事業費	[illegible]
財產評價損	[illegible]
次年度繰越責任準備金	[illegible]
次年度繰越社員配當準備金	[illegible]
支拂備金	[illegible]
別途準備金	[illegible]
社員配當準備金	[illegible]
合計	[illegible]

右之通相違無之候也

大正七年二月

東京市京橋區桶町十八番地

千代田生命保險相互會社

取締役社長　門野幾之進
專務取締役　北川禮[illegible]
取締役　松京重[illegible]
取締役　ひ藤欽[illegible]
取締役　濱田長[illegible]
監查役　岩本生[illegible]
監查役　麻生[illegible]一太[illegible]

右本社の帳簿財產を調查し前記の通り相違無之ことを認め候也

追而取締役壹名增員選舉を行ひたる[illegible]井卯之助當選猶監查役の任期滿了に付改選を行ひたるに何れも重任したり

廣告

物價騰貴に伴ひ組合の決議に依り四月より工賃左の通り相定候也

壹日　金一圓八十錢

大正七年四月

京城建築大工組合

一ケ月卅圓以上手當呈す　副業差支なし

ゴムマリ、ゴム靴、タイヤ等ゴム製品の地方販賣の方を募る　希望者は御申越次第詳細御[illegible]

大阪北區玉江町一　不二ゴム製造所

時間表

[illegible]

十一月一日現行

新に生れた櫻の名所
吉野櫻七百餘本を移植して 近く開園する鷺梁津鳳山遊園

川一つ隔て、冠岳山が笑つてゐるその直ぐ下の鷺梁津の丘の上に櫻の名所が知らぬ間に出來た、本當に知らぬ間に出來た、氣紛れの花の精が一時に天下つて來たやうな不思議な櫻の名所、恐らくこれは

◆漢江橋 が産出した鷺梁津繁榮の魁であらう、漢江橋を渡つて半丁餘り、仁川水道水源地の前を左に一丁近く登つて行つた小山——といふよりも丘といふ方がふさはしい位の小松山に一週間ばかり前から千本近い櫻が植ゑられて、その蕾がこゝ

◆二週間 もすれば綻びそめる程に膨らんでゐる、今度同地の有力者荒井初一氏によつて計畫された鳳山遊園といふのがこれで、從來纔かに短かい松がところ〴〵生へてゐるに過ぎなかつたこの山の持主たる荒井氏が二千餘圓を投じてこの春から開花する吉野櫻七百本を新に麻浦蠶島から買ひ入れて移植したのである

◆二萬坪 からあるといふ廣い園内には四方に道が造られ四阿風、風雅な亭も十棟餘り造られて、今や手入れに餘念が無い、鳳山の上に登れば碧綠の漣波を湛へて靜かに流れる漢江から、楊柳の新芽匂やかに煙る、川中島の鮮人部落、さては麻浦の連山、上流西氷庫の江面まで手に取るが如くに見ねて

◆視界に 入るもの一として輸ならざるはない、附近には水道用地の山にも櫻があれば裏山には桃林もある、愈々花時になれば壽志、辨當、ビール、サイダー、茶菓子、果物の類を京城市中と同じ値段よりも安く賣る事になつて居るのださうだ、鳳山遊園に行くには新龍山の電車終點から

◆約十丁 ゆつくり歩いて行つて三十分とはかゝらない、それに花を觀、且つ水を觀ることが出來るといふのも便利な一つであらう、そして同遊園は十四五日頃に華々しい開園式をやつて一般公衆の來園を歡迎するさうであるが京城附近の櫻の名勝地として春夏の候にかけて京龍人士を吸集する好箇の遊覽場所たるを失はないであらうと思ふ

◇鷺梁津鳳山遊園の櫻の蕾◇

故李埈公 一年祭 十日擧行さる

四月十日は李埈公薨去後滿一年に相當するを以て九日夜より雲峴宮凝殿なる二老堂に於いて一年祭を擧行せらる可く昌德宮德壽宮兩殿下より祭粢料三百圓を下賜せられたり九日午後五時李王職各高等官以上は同宮に參候拜禮を爲せり

徵兵成績
‖甲種は何人あつた？ 各地壯丁二千名

四月一日より六日迄龍山第七十八聯隊内に於て執行せる大正七年度徵兵檢査成績を見ると

▲甲種 二百三十七名▲第一乙種 九十四名▲第二乙種 百十名▲丙種 百五十八名▲丁種 三十六名と云ふ結果で戊種即ち病氣翌年廻しは一人も無い

▼▲更らに 師團管轄別で見ると十一師團の丸龜が一番よく受檢者二十六名に對し甲種十三名第一第二乙種各四名丙種は僅か一名丁種なし一番惡いのが二師團の仙臺で受檢者十八名に對し甲種四名第一乙種三名第二乙種七名丙種四名と云ふ成績

▼▲此の外 六週間現役志願者四十六名現役志願者十七名一年志願者二名の檢査を行つたが之等の成績は槪して良好である、尙龍山の外平壤、義州、元山、咸興、羅南、大田、大邱、釜山の鮮内各地檢査塲に於ける受檢者總數は千九百十四人である

支那留學生 公使館に迫る 學資增額要求

八日午後中華民國留學生約七十餘名許り麴町永田町なる支那公使館に押寄け物價騰貴に就き學資增額の請求を爲し章公使に面會を要めの不穩の形勢ありしも役員の鎭撫に依り無事退散せり（東京特電）

兼二浦 騷擾事件別報 警務總監部著電

兼二浦の騷擾事件につき黃海道警務部長より警務總監部への電報に依れば其の原因は七日午後五時頃支那人鑛夫二十名が

▼娼家を素見 しゐたる約六十名の鮮人々夫と些細の事より衝突したるが發端となりて漸次擴大するに至りしものにて支那人の爲めに娼家の破壞せられたるもの二十三戸

▼支那商店の 鮮人人夫に破壞されたるもの十戸、支那側に即死三名、重傷八名、輕傷二十七名朝鮮人側に輕傷一名を出して八日午前三時一先づ引揚げたり而して八日午前十時頃支那側五百餘名

▼再度襲來し たるも警察官に喰止められて事なきを得たり

東京の花

東京市中の花は數日來の暖氣にて七八分綻びて市民は行春の歡樂に醉ひ團體等の花見の催ほし多し（東京特電）

全州倉庫火災 ▼損害二萬五千

八日夜十二時全州裘天合資會社倉庫より發火し午前三時鎭火せり因に倉庫一棟在庫品（米、籾、叺等）全部燒失し損害約二萬五千圓發火原因不明（全州特電）

後藤男爵夫人逝去

◇逝ける内務大臣後藤男爵夫人かつ子◇

内務大臣後藤新平男夫人かつ子（五三）は豫て心臟病にて療養中の處藥石効なく遂に八日午後三時十分麻布狸穴滿鐵社宅にて逝去（大阪特電）

▼賢婦人 ——と稱された人

故男爵夫人の君とも後藤男爵夫人かつ子の君は貴族院議員男爵安塲末喜氏の妹にあたります後藤男爵と結婚致しましてからは非常な苦境の中にも夫を助けて今日に至つた賢夫人で御子樣方は長男一藏氏を初めとして二男平八氏と長女愛子の養子みねさきの如き人で御座います（佐々夫人談）

高田茂氏逝去

曩に宮中調度奉仕の光榮を辱うしたる京都日本典禮株式會社々長高田茂氏は六十一歲にて逝去せり因に葬儀は十日執行の由（大阪特電）

看護婦敎育主任 推薦された武藤さと子

▼四月に看護婦卅名を募集した總督府醫院の看護婦科では今年十月でなければ新たに生徒を募集しない事になつて居たが餘りに

◇◆志願 者が多いので特に此四月内鮮人を通じて三十名程收容する事にした尙同院では看護婦養成の完全を期する爲め佐賀市赤十字支部に宛て敎育部主任となるべき

◇◆人物 の選定方を依賴中のところ同支部では赤十字本社に委託してある武藤さと子（三七）を推薦して來たと云ふ噂があるが之について監督者側は斯う云つて居る『アレは此方から依賴した譯ではない斯う云ふ婦人を敎育部の主任にしたら何うかと先方から

◇◆推薦 して來たのであるアレで此方でも目下詮議中であるが武藤さと子さんと云ふ婦人は以前當院に居たので產婆の免狀を持つて居る、先年道路救護班に加はつて二箇年間〔illegible〕部戰線に勤務し、歸朝後は婦人さん體操に關する研究の爲め九段の女子體操學校に這入つて勉强中であつたが此三月

◇◆優等 の成績で同校を卒業したまだ決まつた譯ではないが或は來るやうになるかも知れぬ』

九州視察團 西鮮團 既に定數に達す

‖花御所有の擧に贊じ‖

本社主催九州視察團參加申込みは頗る好況なるが就中

◇◆西鮮團 は工藤平安道長官、篠田第一部長、本田平壤府尹等諸氏の盡力あり參加者には平安南道參與官李範來氏を始めとして朴大同郡守韓龍岡郡守其他

▼尙多數の申込あり

へ◆紳士多數ぶり鎭南浦に

花たより 春いろ〳〵の

◇連翹◇躑躅◇杏◇櫻◇梨花◇ 春風にゆら〳〵と

［連翹］ 今年は暖かいせいで花も例年に比べて一週間位早い、連翹はもう至る所に咲き誇つて居る奬忠壇や軍司令官々邸の連翹は黃色に塗られたる春の野のカンバスに先づ黃色を塗りつけた樣に眺められる

［躑躅］ 昌慶苑の植物園で見頃なは躑躅で此頃の花屋の店を飾るのも此の花である一寸近郊の山へでも行けば乙女の息の樣な春風にゆら〳〵と揺られて散りかけてゐるのもある

［杏］ 東小門の杏は赤く蕾が膨らんで居るのがまだ四五日早い、長谷川町の安東病院や日の出小學の杏はもう桃色の蕾を吐き出してゐる

［櫻］ 櫻の蕾は日に〳〵目に見えて大きくなつて行くが第三日曜の二十一日を過さねば綻びまいとは牛耳洞からの花だより

［梨花］ 白い胡蝶の群がる樣な梨の花を靄屋の靜い空氣の中に眺めるのはどうしてもセルの單衣に身も輕い五月の半ばでなくては

◇◆◇◆◇◆

食料節約 『一週に一塊のパンを節し 勝利を得せしめよ』

‖米國も多大の努力を‖

◇食料品節約に 關しては一般非常なる努力をなしつゝある次第で恐くは滿洲に在る人々の想像し難きまでであらうと云つたさうだが米國の如きも亦食料行政署及び其他の官憲で一般に食料品節約に關し左記の樣にして多大の努力をなしてゐる

◇日附印の利用 米國では郵便日附印を利用して其の日附印に局名及び時の外『戰爭の勝利を得んが爲に食料品を節約すべし』との文字を郵便物に押捺し以て一般國民をして食料品節約の觀念を鼓吹しつゝある

◇各種貼札利用 食料行政署では各種の貼札を利用し國民をして食料品を節約せしめて居るが今左に其二三を示さん

（イ）一週に一塊のパンを節し勝利を得せしめよ

（ロ）愛國心を振起し米國が食料節約の誓約に署名せよ

◇米國の食物節約のレベル

◇一週に一塊のパンを節約して勝利を得せしめよ！◇

ナリ家の國より ‖喇嘛僧同行記‖

神戸にて 曰く總ての仕事はみな佛の力だ

神戸に於ける喇嘛僧の一行は非常なる歡迎であつた、五日の朝の特別列車を驛頭に迎へた人々には市長首め田村商業會議所會頭各宗敎家等山のやうな群集で佐々木豪古氏もあれば野添代議士もあつた一同は六臺の自動車で山腹の祥福寺に詣でた

◇◆佛前 の祭典式後は非常な歡待であつた、中食は祥福寺禪堂の大廣間で開かれ豆腐の料理もなかなかの御馳走であつた、それにお寺の精進料理の名物攻めにあひつゝ更に兵庫の鐘紡分工場に行つた

◇◆工 塲で織り上げられた綿布の中に最も行きのものがあつたのは一行の感興を惹いた、また日本婦人の工場も面白く北滿の白楊が軸木に來てゐるのも一行の注意を呼んだ、次いで川崎の造船所で六千五百噸の新造船に上り工場内の見物では中空に架かつた大クレーンが驚嘆ものであつた

◇◆一行 は更にランチで和田岬から雜誌を見た、到る處職工達が帽子を振つて歡呼するのも一行は〔illegible〕ホテルで神戸の官民多數の出席、午後九時の特別急行列車で

◇◆東京へ向つた 愛に團長の感想は振つたもので曰く總ての仕事はみな佛の力であると……これは科學を超越した窮物の言葉で頗る面白い文句と思つた（金谷生）

讀者文藝 （一等には五十錢の書籍券を呈す）

▲一口噺『時事』

□妻 『貴郎私に著物を買つて下さい』 娘 『私には指環を買つて頂戴』 官吏 『あゝ增俸にならない方が宜かつた』（一等） 平北龍巖浦 宮崎寒扇子

▲讀者 『寄付の惡弊を斷たうと來迦を習つて居る讀者が有るんだよ』 與太 『其れぢやあ射倖を頂戴したら』 京城 枯庭

▲甲 『新町の娼妓が南山で死んだ相だ』 乙 『戀死（南山）とは可愛相だ、せめて漢江（龍山）であれば助かつたらうに』 京城 準チヨンか

課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢書籍券を呈す

天氣 曇但小雨 （九日午後六時迄）

▲四月十日 日出 午前五時 〔illegible〕

商況

兵庫期米

九日前場 三月限 二十五圓九十錢 八十錢

東京期米寄合

二十五圓四十八錢

大阪株式寄合

	寄付	前引
〔illegible〕	〔illegible〕	〔illegible〕

大阪三品寄付

大阪期米寄付

二七、〇五 二六、六五 二五、七六 八二

下關期米寄付

三品更に不勢

前週末より休日明けに掛けて奔落せし大阪三品も今前場寄付は當限三百六十四圓五錢先八十二圓と昨前場より多少引戻せしが止めに至りて先七十七圓五十錢と昨前場寄付の下値に廻れり現物は平穩なり

綿布は龍ヽ十一圓十錢三銘先物十一圓三十錢方引返

砂糖愈缺乏

出拂は二三十俵と品切れにて入品は忽ち賣出し斤數に制限を加ふるに至り

賣止め中

十六圓間際にて休業一部職屋口

京城雜穀

南大門の廻穀

金巾類傍觀

十八圓に内外迄低落

晒金巾輸入中絕

鮮人向夏織物

四割以上綿物三割毛織物三割以上の高値に當れり

正米持合ひ

揮發油値上げ 又一圓の値上

仁川正米

釜山穀物（八日）

仁川期米

九日前場 保合

市場雜觀

合の裡に底強き成行を示して散會

錢と上伸し依然保合

十三錢と七錢安に

寄付

先二十一錢より三

大阪の買方仲買六名警告

八十二錢と跳ね返り大阪三節噂に止まる

下關相場

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 電話長三二七番 三六八番

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長二九〇番

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 電話（サ）又十

仁川取引所

九日の六月限

小賣白米

白米標準値 二十六圓八十錢

現金 一等白米 二等白米 二十七錢五厘 二十七錢

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店 仁川海岸町三丁目

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金萬田仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長一八〇 電話長二八一 電話長一一九 ●資本金壹萬圓 ●前金御注文は紹介不要候 ●營業案内進呈

多忙を極る製鐵工塲

◆日本より米國の方が遙かに廉い◆

滿鐵沙河口工塲に於ける大正七年度の主なる事業は鞍山站製鐵塲熔鑛爐及び其他の一般の設備に要する諸般材料の製作にして鞍山製鐵塲が其の工程を急ぎ本年中に熔鑛爐火入を爲す迄に取運ぶ豫定を以て晝夜兼行の狀態にて設備を急ぎ居るを以て從つて沙河口工塲に於ける製鐵用諸材料の製作も亦全力を擧げて之れに從事し工塲及び製造力の過半は之れが爲めに使用し居れり從來職工は二千四五百名の處昨冬より約五千名の職工從業し工塲は著しく狹隘を感じ居れり職工は毎日午前五時に就業し午後五時迄で働き夜業は午後九時迄とし時局の關係上諸方の注文多忙を極め居るを以て聊か勞働時間無理なれど目下の處止むを得ざる次第なり沙河口工塲に於ける本年度中に製造する豫定の機關車は

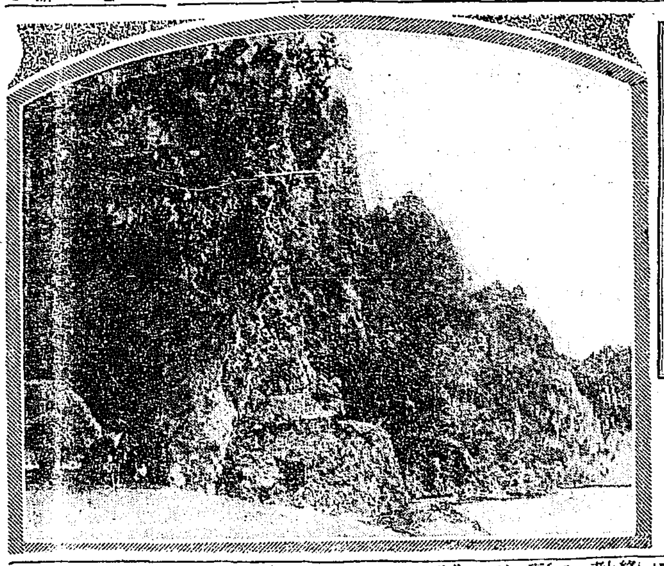
◆朝鮮鐵道の分◆九噸滿鐵七噸其他撫順炭坑用鞍山站製鐵所用等を合し二十一臺の機關車を製出する筈なり此の外撫順炭坑に於けるモンド瓦斯擴張に要する諸材料及び貨車三百輛等の製造を引受くるものとし其他各方面より汽罐及び諸機械の製作註文可成に多く工塲は引續き多忙の見込みなり貨車は初め八百輛建造の豫定なりしが鐵材不足の爲め五百輛は米國に註文し貨車の車輪及び其他鐵製の部分丈けを製作品として購入する事となりたり現今にては日本內地に於て鐵相塲異常の昂騰を來したる爲め却つて鐵製品を米國より購入する方が日本內地に於て鐵材を購入して製作するよりも遙かに廉價にて買得ると云ふ

◆奇異なる現象◆を呈するに至れり沙河口工塲にて使用しつゝある鐵材は米鐵禁輸以來內地の在庫品を使用し居り目下の處鐵材の不足を告ぐるが如き事なしとするも將來所要の鐵材に就ては聊か憂慮すべきものあり木材は目下

◆主として鴨綠材◆及び北海道材を使用し居れり吉林材は前記兩地の木材に比して格高なるを以て現在にては使用せざるも今後吉林材も盛んに伐出せられ運輸機關の改善と相俟ちて價格亦低廉となるに至るべし目下の處鴨綠江材も動もすれば其の價格の點に於て北海道材の爲めに壓倒せらるゝことありと云ふ（森工塲長談）

九州視察團寫眞帖

（耶馬溪青洞門より競秀峰を望む）



東支鐵道問題 露支兩當局 會見商議の期

東支鐵道問題解決の用務を帶びて北京滯在中なりし郭省長は急に哈爾賓に赴き同鐵道副總裁の露都より來著を待ちて商議する筈なるが吉林への歸著期は猶未定也（吉林）

長官榮進說

宮尾民政長官拓殖局長官に大連民政署長大內丑之助氏關東都督府民政長官に榮進すべしとの說

あり眞價元より確かならず（大連）

復た新紙幣 何うする積りか

◆更に大小銀元票五百萬元◆

正貨の準備全く無き官銀號の元票は既に市塲に於ては中交兩銀行券に比し既に差額を生じ昨今百元に付き三四元の步にて賣買行はれ商人に取りては尠からざる苦痛なるに今回又た更らに大小銀元票五百萬元を發行すべく財政部に電請したりと是れ將に第二の官帖也（吉林）

迎日の鰊漁終る

慶北迎日灣に於ける鰊漁業も愈々漁期末に臨みたるが三月に入りてより氣溫に意外の變動ありし爲め一般に絕望視され居たるも同月上中兩旬中五百噸二萬六千五百圓の漁獲ありたるが二十日以降は頓に暖氣加はりし爲め漸く同漁業の終期を覺ゆるに至り鮮人共同漁業者は何れも解散を爲し昨今內地人の幾分に於て僅に娛樂的漁撈に從事しつゝありと而して沿岸の漁民は近時に於ける物價騰貴の趨勢に拘らず豐漁の結果悠長なる生活を營み居る由

大豆の皮より新發見の染料

◆鮮やかなカーキー色を◆染め出すべき新しき發見

仕鄕家乖今野作左衛門氏は業務の餘暇染料發見の研究中なりしが過般大豆の粒皮より四種の染料を發見し目下大阪陸軍被服廠に於て試驗中の處成績頗る良好なるに依り農商務省に特許出願中の由なるが該染料中カーキー色は其特色とする處にして日本在來の染料中稀有の發見に係り現今我陸軍の使用せる染色に採用するを得ば經濟上は勿論我が陸軍に貢獻する處尠なからざるべく其具體的發表迄には尙多少の時日を要する由なれども廢物利用の新發見として頗る興味ある事なり（大連）

恰も獨領と異らず

◆オデッサやキエフは◆

オデッサより引揚げ來れる英國領事一行（四十四名）の長春にて語れる處によれば目下オデッサは獨墺の捕虜過激派より武器軍服を供給せられ小露西亞よりオデッサ、キエフに活動し恰も獨逸の屬領の感ある露國の勞働者に兵士等は暴行掠奪を擅にし貴族階級より一般住民及び外人に迄及ぼし一行中にも其の害を蒙りたる者多し食糧はさほど困難に陷り居らざるも引揚の途中莫斯科を通過せるが同地及び露都は國民食糧缺乏を告げ來れり露都は獨軍近づき危險なり

十八歲から

◆五十歲までの者に動員令

イルクックの新聞に據ればダウリヤ方面の形勢に關し後貝加爾鐵道チタ驛從業員委員の檄に應じ同鐵道ベタフスキー、ザバイド、ヒロク其他の驛に於ては十八歲乃至五十歲の者の動員を行ひ毎日一定の敎練を行ひ以て積極的行動に出づべき旨を決議したる由である、右に關し社會革命黨に屬する同集會に於て反過激派に對する防禦は各民族の提携を必要條件とし之が爲めには各民族間內部の紛爭を止むべく赤衛軍編成は之を專門家に委任し絕對強制を避け義勇兵を以て編成すべしとの決議を爲したさうである

大連より

○大連に於ける住宅拂底の聲は依然として減ぜず近來愈々甚だしく成りたる幾多の移住者が下宿屋又は知人と同居して十圓より五十圓までと云ふ如き廣き範圍にて住家を搜し居るも全市に殆んど一つの空家もなく一枚の貸家札を發見する事能はざる如きは恐らく大連以外の地に有りて全く想像し得ざる狀態なるべし

○衣食住は人間生活の基本にして之れを得るに非ざれば生活し得ざるも從來吾人は餘りに簡單便利に之れを得て其の有難味を感ずる事少かりしが大連に來りて始めて之等の生活必須のものを得る事甚だ易からざる事を切實に感得したり衣食ありて住なきは食住ありて衣なき又は衣住ありて食なきと其の苦痛に於て甚る處なし

○斯の如き住宅拂底の狀態は單に新移住者を苦しむるのみならず先住の借家人をも苦しむる事甚だしきものあり即ち家賃は隔月又は半期毎に騰貴し家屋の修理等は全く放任せらるゝも苦情を申込み他に轉宅するが如き事は全く不可能となり借家人はただ家主の意の儘に隨ひて神妙に蟄伏し居らざるべからず苦笑すべき好景氣と云はざるべからず

○關東都督府にては關東州內及び滿洲各地に於ける米價漸を追ひて昂騰し前途豫測し難き狀態なりとなし之れが調節の一方法として米麥輸出解禁方を政府に交涉せんとの事なり

○政府が果して此の交涉を容るべきや否やは別とし萬一都督府の交涉を容れ內地及び朝鮮の米麥輸出解禁を爲したりとするも果して滿洲の米價が現今以下に引下げらるゝや否や疑問なりとす異に都督府が社會政策を實行し米價の調節を企圖せんと欲せば斷然米麥の專賣を實施するが可なり

○更に進んでは蔬菜魚類等も相當の保存及び販賣に干涉し在住民の生活を保護するの政策に出でられ度きものなり殊に大連に於ける家屋の如き何んとか其の調節を企圖せられ度きものなり

○近來內地に於ても新らしき政治のモットーとして社會政策の云爲せられつゝあり然れども內地の如き生活の基礎確立し然らざるも隣人親戚等の相互救助するあり各個人の生活は比較的安固に保障せられつゝあり然るに殖民地の社會狀況は之れと異り其の生活を保障すべき固定財產を有する者少なく隣人知友の相救助するもの稀なり殊に大連の如き猶ほ新たなる地に幾多の成金橫行して特別の好景氣を現出する裏面には甚だしき生活の窮迫に陷れる者亦少しとせず眞に根本的社會政策を實施する好個の試驗塲にして又其實施を必要とする處なるべし

◇滿洲の旅客（昨年中の宿泊客）

（地）	邦人	支那人	外人	（一日）
長春	七、四三六	三〇、三六六	三、一四八	二〇
奉天	三三、三四五	一〇九、一四四	—	三六二
安東	七七、八七九	不明	—	二一一
營口	一、二三三	二、〇四四	—	九
遼陽	一、四五一	九六三	—	六
鐵嶺	一、六六九	不明	—	四

し目下其の調査を進めつゝありとの事なり

西伯利亞の奇現象（二）

◆森林帶に於る蚊蚋地獄◆猛獸すら凍土帶に逃出す◆

森林帶は北緯六十五度より五十五度の間に延長せる森林地にして樹木の種類は塲所に依りて同じからず空氣濕潤にして氣候比較的溫暖なる處には銀松、新羅松、欅、赤楊の喬木繁茂し尺寸の地も餘さず木倒れて腐朽すれば更に其上に木を生ず空氣の乾燥せる土地或は山の斜面等には樅、松、落葉松等生じ其數は少きも樹幹長大なり夏は炎熱甚だしく水蒸氣の空氣中に充ち爲め恰も波斯灣と同じの濕地獄となる殊に森林中には無數の湖沼あり瘴氣、水蒸氣と共に蒸發して林中に遍滿し風は密林に妨げられて之を吹き拂ふこと能はざる故單に人間のみならず猛獸にても森林中に入れば必ず瘴氣に犯さるゝのみならず森林中には

◆幾億萬の蚊蚋◆（發生して人畜を苦しむること）甚だしく到底近づく可らず猛獸すら之に堪へずして遂に凍土帶に逃げ出すを常とす土人は蚊帳に似たる網を以て顏を包みつゝ睡眠し森林附近の土人家屋には生木或は生葉を燃やして室內及び家畜小屋を燻烟し以て蚊蚋を防ぐ夏季斯の如く暑くして厭ふ可き土地なると同じく冬期も生活に適せず嚴寒には氷點下四十度乃至四十五度に下ることを珍らしからざれど此嚴寒中は全く無風となり降雪の際も支那や我國の如く『雪は鵞毛に似て飛んで散亂し』抔いふ如き詩趣なく

◆一片の降雪も◆（靜かに直下して地に下だる）四方寂寞として天地靜なるが故に人語も犬聲も能く遠きに達し時々寒氣の爲めに樹木の折れ地盤が破裂する音此寂寞を破つて物凄じき感を人に與ふ野鹿は此時諸處より集まり來つて千百群をなし互に肩や脊を摩り合はせて暖を取り犬は積雪中に深く穴を穿ちて其中に潜み人の通行するを知るや突如として吠ゆ、鳥のみは時々此寂寞なる寒空を翱翔せるも冷却せる空氣の作用に因り其飛翔し行く跡に

◆一條の白氣を◆（ひき殘くよりこれを止めば）恰も白煙の搖曳するが如し土人は斯く寒氣凜烈にして四方一面の銀世界なるも空氣の靜穩なるを喜びて外出し所謂る『人は鶴氅を著て立つて徘徊す』の詩趣あらしめ中には殊更に遠くに旅行を企つる者さへあり然れども一たび寒風吹き起れば氣象爲めに一變し寒暖計は零點下僅か十五度にても血管內の血液凍凝するの惧れあり如何なる

◆大溫袍を纏も◆（此風に當りては生命保たず）唯屋內に入り焚火に依りて暖を取るより外免るゝの道無し土人は吹雪の猛烈なるものをブルカと云へるが此のブルカ來るや雪を飛散せしむるのみならず地上の積雪をも捲揚げ天地晦冥となり目を開くことも步行することも出來難く土人は橇の下に潜りてブルカの去るを俟てるもブルカの長く留まる時は遂に凍死を免れずといふ

台所のその日

◈大根のごま酢◈

大根の皮をむき小口から薄く輪切りに切り更に極く細かく切つて水洗ひして輕く搾り酢に浸して置き別に木耳を水洗ひして之れも細く切り油揚は一たん熱湯をかけ之れも細く切り皆一しよに合せ砂糖、醬油で味をつけ胡麻を炒つて摺りつぶし酢に入れて混ぜ合せ之れに前のものを入れてよく和へるのであります

立身早き職業あり 會員募集
◉此際何人も必要なる◉新名灸穴法全一冊
無代進呈の特典あり
本院は鍼灸術、按摩術マッサージ電氣術を開業試驗程度に於て速成講義録にて養成しつゝありしが迅速なる人口增加と海外の發展は益々新教育の本術士を要求して止まず今や鍼灸界は醫科大學に研究せられて以來術時代一變して內地海外の頭土共益々有望なり治療上藥品の如く副作用なき爲に流行の歡迎を受け本業は生涯生活の安定を保せられ其の收入は高等學府出身も及ばざる者あり徒手空拳にて內地に海外に雄飛し立身成功せんとする者は申込め普通一年以上のものを今回速成六箇月にて卒業せしめ修業後は開業上一切の手續便宜を與ふ自宅にて餘暇に勉強し生涯の基を作らんとする男女は直ちに申込め大至急ハガキにて申込次第規則見本を進呈す
◉東京府下自身及家族の治療は特に敎授す
東京市山北町七の八十二 日本鍼灸專門學院

つけたらテキ面 ヨクキク目藥 今が一番大事な時 目藥 點眼水

汽機 石油發動機 八馬力 東京タイガー商會 壹臺
ポンプ 捲揚機械 吸入瓦斯發動機 附屬品完備 右割安御相談上候 京城大門通五丁目 中村幸商店 電話二二五番

質 杉本質店 倉庫完全 債券買入 京城櫻井町二丁目 電話一二〇三番

丈夫で安い實用靴 ボックス革製
編上靴 甲四圓四十錢 乙三圓四十錢
深護謨靴 甲四圓七十錢 乙三圓七十錢
半靴 甲三圓九十錢 乙二圓九十錢
御注文の節は足袋の數と種類御申越あれ實費代金引替小包にて送る
陸軍御用 東京牛込肴町六〇 ツブク靴店

勸業債券月報 定價一部一錢二厘 號外三錢 一年（つき）廿四錢
東京市麴町區（勸業銀行構內） 振替東京二一九 電話本局（長）二二八〇 十八番新橋三三六三 本店
福岡市博多下呉服町 振替福岡九五五〇番 電話一五四五番 福岡支店

勸業債券貯蓄債券相塲表
五月印く發觀覽相塲本四月十四日迄規定書御申越次第進呈

大券仲値	貯蓄債券	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]

債券御買入れ送料一錢

勸業債券 基本金の確立 政府への保證金に適する公債及勸業大券格安に致します

のん病七日藥 痳病 痳除はいやでも治る奇藥也 大阪堺筋八幡筋北 山口藥院

胃腸最良新藥 チスゲチン 日本及歐米三十ヶ國專賣特許
東京本町 藥種問屋 岡城商店

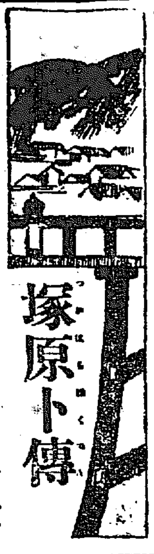
鑛石買入廣告
一銅鑛 一金銀鑛 一鉛鑛
右多少に不拘精々高價に買取可致候
當所買鑛取扱規定御一報次第御送付可申上候
取引先各位の御便宜を計り無料分析の御依賴に應じ可申候
安東縣沙河鎭大倉鑛業株式會社 安東製鍊所 電話三七六番

內科 眼科 小兒科 京城黃金町三丁目（電車停留所前） 本田醫院 院長本田建義
附屬 京城肛門病痔疾療院 電話二四四三番 振替京城三三八番

廣告
拜啓陽春之候各位益々御健勝の段奉慶賀候陳者各位の御深厚なる御引立に依り當組合も日増に隆盛に趣き誠に難有奉萬謝候扨而御承知の通り昨年以來原料及び容器の騰貴に連れ得已再三の値上御相談申上居候處何とか御意方の御便利を相計り度存居候折柄其筋の御內諾を得市內小賣に限り自今容器を御用立申候中味のみを廉價にて販賣致候間倍舊の御引立之程伏而奉懇願候 敬白
但し右容器は赤塗とし組合の燒印を押捺し置候條賣買等は一切堅く御斷申上候
京城醬油釀造組合

漸く縞シャツノシーズントナリマシタ!! 柄ノ精巧ナ地質ノ完全ナ蝶矢印ガ今年ノ流行ト定リマシタ。
登錄商標 朱子入マドラス ゼファーシャツ 大阪 東京 潮谷商會

西洋洗濯職工募集
京城龍山仁川西洋洗濯業組合ニ於テ職工ヲ募集ス從來同職工ノ雇入レハ夏時多忙ノ際ノミ使役レ結氷ニ向ヘハ直ニ之レヲ解雇スルヲ常トシタルモ斯クテハ職工ノ不便尠カラザルヲ想ヒ玆ニ組合員一同協議ノ上夏冬ノ別ナク常雇トナスコトニ相成候條御希望ノ方ハ往復葉書ニテ年齡ト職別並ニ技能セル技術等明記シ左記ノ個所へ御申込相成度此段廣告候也
但御申込者ニ對シテハ無料ニテ親切丁寧ニ周旋可致候
京城永樂町二丁目（電話二五八四番） 東京屋洗濯店
○內地ノ希望者ハ便宜上左ノ各所ニ於テ御問合セ下度候
東京本所區入江町一五 木村辰次郎
東京 芝區三田小山町 木村長五郎
大阪府池田町二五八四 吉野德治郎
宮崎縣 細島港 吉野常一
門司市外大里町帝國麥酒株式會社 中村隣



塚原卜傳

第四十席　悟道軒圓玉口演

塚原小太郎山城守殿の活斷を聞いて今は一刻も猶豫して居る譯に參りませんから、早々暇乞ひをいたし旅装を整のへ花隈の城を立出でる、時に山城守殿が　山『小太郎　譬く申す様であるが身を大切にして苟且にも短氣を起してはならんぞ火の上を行くが如しといふことを深く胸に秘めて、輕擧をいたすな　小『忝けなう存じます、其れではこれでお別れ申します先生にも御身御大切に……　山『再會をいたす日を待つて居るぞ　小『ハイ』口にはいへど老年の師、之れが今生の別れになるも知れぬと泪もろい小太郎胸が一杯になつてくるのを堪へて師を初め城内の者一同に別れを告げ、播州室の津から急ぐ旅でありますから熱田通ひの便船を求めまして其れに乘り、幸ひ順風船脚も早く、海上を辷るやうに走つて參ります、小太郎心中に海神を祈り早く熱田へ着くやうと祈念して居ります、乘合船といふものは面白いもので商人も乘つて居れば百姓も乘つて居る、武士も居ればて女も居る、種々多な話面白いものです、酒を出して飲む者もあり、甘いものを披げて摘む、歌を唄ふ又は勝負事をする者もある、中に一人の町人が　○『モシ貴所は何國です　△『私は上州で　○『上州といふ所は風の吹く寒い國だといふがさうですか　△『風も強いが人間も強い武術使ひは先づ上州ですな、何しろ新田義貞といふ大將が生れた土地ですから今も昔も豪傑が澤山出て居ます　○『モシお話の中だが新田義貞といふ人は豪傑ぢやアない、まづ弱蟲の方だね　△『何が弱蟲で……　○『何がといつて第一女好きで勾當内侍の色香に迷ひ戰ひの期を誤まつて遂に楠が湊川に討死をするやうになつたと太平記にチヤンと書いてある、同じ時代の人だけれども足利尊氏は大した名將だ、鎌倉へ落ちた時には僅かな人數であつたが忽ちの中に何十萬といふ大軍を集めて、海陸兩手に分かれて攻め上つて來た、その時の戰爭といつたら大したものだ、却々義貞如きの及ぶ所ぢやアない、義貞は遂々北國へ往つて燈明寺畷で討死をして了つたが、足利の方は天下を治めて今で十三代、何と偉いものぢやアないか、まるで役者が違ふ　△『ヤイ〳〵此畜生獸つて聞いて居れば飛んだ事をいやアがる、乃公だつて太平記位讀んで居るぞ、義貞公は南朝の忠臣だ、足利尊氏は天下を盜んだ逆賊だ、言譯のために錦の旗を立て、北朝と稱へたけれど南朝の方が御正統だ　△『此野郎將軍樣の御先祖を惡ろくいつて、モシ御役人の耳に入つたら大變だぞ　△『大變もあるものか何といつても新田樣が忠臣だ　○『足利の方が賢人だ　△『何を此野郎、サア勘辨出來ねエ』と拳を固めてポカリツと打つ　○『ヤイ頭を毆つたな　△『毆つたが何うした　○『何うするか見ろ』と忽ち新田足利の組み討が初まつた、乘り合ひの一同は驚ろいて　×『まア〳〵お待ちなさい……お前さん達は飛んだ事をなさる、新田樣が勝くつても足利樣が勝くつても宜いぢやアございませんか、第一來會の者が迷惑する、まア仲直りをおしなさい、新田も足利も因を正せば同じ淸和源氏で兄弟の家柄だ、幸ひ此處に酒があるから一杯飲んで機嫌を直しなさい』と仲裁が入つたから、二人とも間の惡い顏をして　△『誠に濟みません、つい此野郎が義貞の事を惡くいふもんですから　○『私も此男が將軍樣の御先祖を何だ彼だといつたからつい喧嘩をして申譯もございません　×『マア〳〵宜いや早く仲直りをしねエ』と大騷ぎをして居る、所が最前から艫の方に控へて居た一人の武士が獨酌でチビリ〳〵遣つて居りましたが驟てズイと席を立つて其れへ進んだ

乳牛　御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

暦

四月十一日　九紫星　木曜　舊三月朔日　戊子　本命一白　北成先負

▲一白●取れさうに見えて取れぬ事有日邪事見合西方は吉路氣北▲二黑●負なしみの事有日奉手餘負事は吉又散財を助かるべし▲三碧●婚姻目時居入學金甪乞　弘求　職出淺家作▲四綠●思はぬ婚姻發す女を定むる等皆吉▲五黃●似而非談論の事有日斷事手形證有日▲六白●頭なる事は吉急頼せにせらるべし▲七赤●花の如き日轉居入學等男子は上職に就き女子望外の良縁を得る▲八白●勃然とする事有日事事蹟事は出會談泳▲九紫●油斷成り難き日尙身を謹まるべし勝負事手控營事は吉小兒衛生誘惑注意

演藝案内

京城壽町　壽座　電話五七八番
四月九日午後五時より開場第三回替り新番　新作意劇育ての恩　三場　連鎖飛行家の妻　二十二場　新喜劇心機一轉　二場　舊劇和田合戰女舞鶴　一幕

明治町二丁目　浪花館　電話二六〇番
初日以來連夜大好評　東京浪花節會幹事　桃中軒如鳳　吉川小菁次　義烈百傳（如行）　義士傳（小女浪花節）　江戸の花（如鳳）

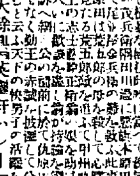
櫻井町　大正館　電話八七三
○米國ミウチアール會社作品　ハイチレス山　○滑稽之大王チャップリン伯爵　○新派活悲劇　○探偵活劇

黄金館　電話二六三七
○舊説義士傳　○新派悲劇「緑のもつれ」　○新派活劇「聞の巻」

京城本町　壽館　電話一〇五〇

有樂館

てんかん　病で時々ヒキツケ倒る方切手二銭送れば永年の病も自宅で全治する事を書た詳しい本を無代進呈す　名古屋市南小川町　一救生

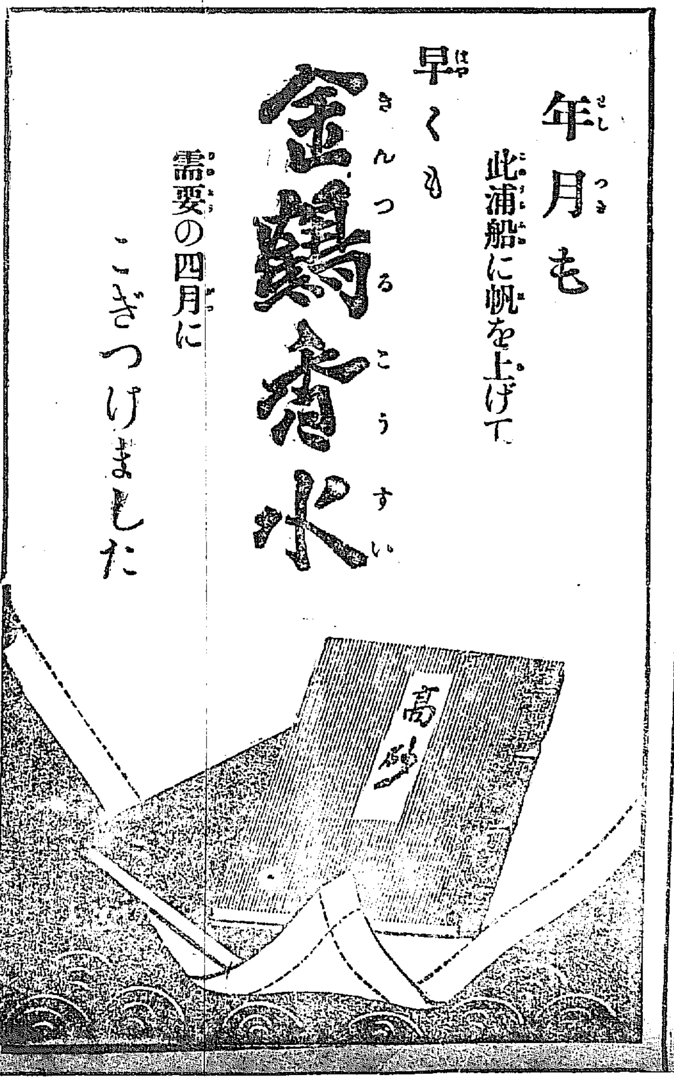


●肋膜炎を病む方に
△水がたまつて苦しむ人
△水がたまらなく苦しむ人
ロクマクエンにて永らく病む人は胸膜汁がたまり液の中に血が交り灰色のかたまり呼吸をすると胸が痛む咳嗽が出る動くと呼吸が困難になると云ふ隨分難儀な病氣である此病氣を速く治して丈夫になりません世の人々の最も恐れて居ります肺病に成り易いのですが未だ此病氣に良く効く良藥がありません東京府大森新井宿け江原藥房發賣ヨクキク藥の上最もヨクキク藥を同病に惱む方に無代差上げます御遠慮なく申越下さい

濟經新藥レスリン　月經

陸軍拂下　京城府漢江通三　佐藤古着店

花見と胃
花を見て樂しく辨當を召し食べれば胃の消化を良くするの神經的作用がありますが、飲み過ひ過ては、二日酔、食傷等にて胃を害することがあります、斯る場合には胃病良藥の胃活を御用ひあれ



汽車　京釜線（南行）　同（北行）　湖南線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　京元線（北行）　同（南行）

京城日報
朝刊 四月十日（夕刊併せて八頁）
定價 一部金二錢 一ヶ月金五十五錢 郵税一ヶ月金五錢 前金…
廣告料金 五號活字一行 金…
京城太平町通一丁目 發行所 京城日報社 電話長三四五番 二二六番
印刷人 下川三之助

第五版

て地方長官に對し左の訓令を發し
要なる敢て綜を俟たざる所なり然るに時局以來經濟界の變調に基き一般物價昂騰を告げ日常必
一般國民亦思を是に致し產業に精勵して國產を增殖し冗費を節し射倖を愼み政府の施設と相俟
ども斯の如きは堅實なる生產者の最も愼むべき所たるのみならず爲に或は將來激落に遭遇し不

米國戰時貿易

昨年に於ける米國の貿易は輸出入共非常なる增加を示せり即ち輸出…國別を見るに昨年一月以降十一月迄に至る輸入の最も多きは加奈陀…洲、西蘭等に對する輸出額…四十二億弗にして一昨年同期に比し四億弗の增加を見たり茲に注意…

…城公立普通學校附設鏡城公立簡易農業學校廢止の件は同郡守より申請中なりしが四月五日附

京城日報　西部戰局如何

去月二十一日、獨軍西部戰線に於て大攻勢を取り、一たび英佛軍の連絡を截斷せらだりと傳ふるに至りたれども、其後旬日を經て、或は云ふ獨軍其進勢を停止したり、彼の力既に盡きて復た進む能はざるなりと。然れども獨逸は運ら增援軍を送致し、專ら再擧の計を講じつゝある、形勢甚だ明白なりと云ふより推すときは、今日は則ち第一期戰より第二期戰に移るの中間にして西部戰線の勝敗は近く常に起るべき第二期爭鬪に依りて定まるべく、今にして消長を斷ずるは、尙ほ早しと謂はざるべからず。

獨逸が此第一期戰に於て用ひたる兵員は、少くとも百箇師團を下らず、或は云ふ其數二百七十五萬を算すと。即ち是れ英佛軍が飛寨敵せずして其陣地を撤退したる所以にして、敵は其衆を恃みて、其犧牲の過大なるを顧みずして盲進したれども、强弩の末、勢縞を貫かず、英佛軍の連絡は斷たれむとして復た纔に綢繆彌縫以て其形を全くすることを得たり。且佛蘭西は今猶ほ强大なる豫備隊を擁して其を用ふべきの機會を窺ひつゝあり。是を最近の形勢に徵するに、獨軍は常に佛蘭西を重かり、其の佛軍に對する戰線には既に塹壕を設けて、防禦の計を講ずるに是れ急なり。即ち是れ佛國豫備隊の逆襲を畏れて自ら守るに專らなる所以にして、獨軍にして後日增援を得ば其の再び攻勢を取る方面は英軍戰線なるべく、獨軍最後の死勇を鼓して進むは、只英吉利に對して其憤怒を漏らすが爲めなり。敵は英吉利を以て倶に天を戴かざるの仇讎と爲す、其の最後を遂ぐるの地を英軍戰線に擇ぶ亦其故なしとせざるなり。

今日の大勢を觀るに、英佛兩國民は戰爭の永續を覺悟し、耐久力を以て敵に勝たむとするの意思甚だ鞏固なり、北米合衆國は今日新たに戰鬪に參加し、僅かに其出兵經營の小部分を開始したるのみなり、彼は三百萬の大軍を佛國內に出して獨逸と膺戰し、其の死命を制するを以て目的と爲す、從つて其前途尙ほ甚だ悠久なり。然るに中國同盟の地步は則ちこれと反對にして、過去に於ける戰局は彼に利ありと雖も、其實力は既に盡き其國民亦久しきに耐ふるの意思能力なし。故に獨逸は則ち速かに勝つか然らざれば則ち速かに平和を回復するか二者其一を擇ばざるべからずして、彼が常に攻勢を取ると同時に講和運動に怠らざる理由は則ち此にあり。最近墺國外相チエルニン氏が、維納市會に臨みて講和の有望なることを說き、米國大統領の平和回復に熱心なるを風聽し、協商國の執著する所は只アルサスローレーン問題なりと云へるが如きは、一面其國民を慰撫すると同時に協商國及び米國に對して『バルーンデッセー』を試むるものに外ならずして、其虛實の存する所亦甚だ知り難からざるなり。

再び日本を訪問して（三）
成功せる總督政治　ドクトル ベリー氏

予は始めて朝鮮を訪問せるが予の觀察する所に依れば朝鮮は東洋に於ける唯一の健康地なり、日本內地は山水の美なる點に於て世界の公園として推賞するの價値あるも唯だ潮流の關係上濕氣多く宛ら溫室に在るが如き蒸熱を感ず、之に反し朝鮮は大陸的氣象の影響を受け空氣乾燥、頗る

△心身に爽か也　現に予一行が釜山に上陸するや一行中のベッドレイ博士は朝鮮の氣候を激賞し宛ら一杯機嫌にて躍り廻るが如き心地すと戲談を並べたる位なり、從來米國宣敎師の多くは日本に於て健康を害するや態々本國に歸還し米大陸の乾燥せる空氣に浴するを常としたるが此は僅かに一衣帶水の朝鮮が斯く健康地なるを知らざりし爲めなり日韓併合の當時日本官憲と外人宣敎師の間に甚だしき誤解を惹起したる事ありしが予は今日之を想起する每に

△一場の夢物語　として一笑に附せざるを得ず、予は過般東京に於て寺內伯に會見したるが日本官憲對外人宣敎師の誤解には伯も亦日夜念慮を惱し如何にもして此誤解を一掃せんと欲して一日宣敎師を其官邸に招待したる事あり偶々伯は其約束の期日に至りて病魔の襲ふところとなりしが此會見の結果により重大なる關係を生ずるものなる事に想倒し病を推して無理にも出席したりと語れたり予は伯の口より親しく此述懷を聽き思はず熱淚の滂沱たるを禁じ得ざりき、尙伯は併合以來絕えず鮮人の

△保護誘導に　努めたる事を述べたるが聞くところによれば伯は此目的より全鮮に亙りて二十二個所の病院を建設し鮮人に對して慈善的の施療を行はしめ又官民の爲にも夫々敎育の機關を設備したりと云ふ、予は之を親しく當時の總督より聽き更に朝鮮に來りて其實際施設を視るに及びて明かに日本當局の誠意を認識するを得たり、併合以來僅かに八年、政治に經濟に交通に產業にあらゆる點に於て朝鮮が異常の發達を遂げ生民は鼓腹擊壤して總督政治を謳歌し居れるなど

△世界植民史上　未だ曾て類例なき成功を贏ち得たる所以亦日本當局に此誠意あればなりと信じて疑はず＝下略＝（完）

英米に於ける製鐵業の趨勢（七）

『ノーフオーク』『フイラデルフイヤ』『ブルークリン』『ボストン』戰鬪に於る合衆國の海軍造船所は『ボーツマス』の五地を除けば南は『ガルヴエストン』（テキサス州）より北は『ボートランド』（メーン州）に至るの間に於て能く太洋の驅航に堪へ得べき船舶を製造し得る造船所とては十箇所だになかりしなり然るに一九一四年の秋より一九一七年の秋に至る期に於て多數の造船會社新設せられ『ベスレーム』及び合衆國鋼鐵の二大鋼鐵會社は大西洋岸に造船所を設け附帶事業として造船業を經營し又從來の諸製鐵會社も亦造船を開始するに至れり左れば一九一八年の夏秋の交にも至らば紐育『ニユージャージー』『ペンシルヴアニヤ』『マリーランド』『デラウエーヤ』及び『ヴアージニヤ』六州の有する造船所は『クライド』『タイス』『テース』等多數の造船所にも匹敵するに至るべし上來述ぶる所によりて米國に於ける鐵に對する需要は何等の減少を來し居らざることを知り得べし果して然らば銑鐵產出額の減少を來したることに就ては他の鋼鐵會社も買主も或點以上は之を制止し得ざる性質の原因を存すべし是に於てか吾人は勞力の不足なる問題に逢着するなり米國に於ては諸製鐵會社こそ賃銀を高め賞與を多くし之を好餌として纔に必要なる勞働者を準備し得たりと雖も如何せん開戰以來三十七箇月に亙り歐州移民の渡來杜絕したることとて石炭產出地たる『ヴアージニヤ』『ペンシルヴアニヤ』『オハイオ』『インデヤナ』『イリノイス』等各州の石炭行業者も石炭の不足の結果其の製炭製鐵業を以て有名なる『コンネルヴィル』地方に於ても勞働者の缺乏を告げ造鐵會社は何れも勞働者の缺乏を告げ…其の製炭事業の作業を繼續したるものは戰爭景氣の期間に於てすら纔に七割若は七割半を出でざりき過去十箇月間に於ける產鐵額の減少は畢竟戰炭の不足は或程度まで鐵道貨車の不足に原因す貨車不足の爲め鐵礦は『ローツ』『レーキ』諸港より充分なる鐵礦の給付を受くること能はずして一九一六年初に於ける鐵礦は作業中のもの迄休業中のものの不作業の困難を感じ其の影響延きて今日に至りたるなり鎔鑛爐の數は一九一七年初に四百五個ありしが六月末に至りては作業中のものを合し三百四十個にして其の生產力一日十一萬一千七百噸に下り七月末に及んで爐數三百四十九個其の生產力十一萬二千百五十五噸に上りたり然れども註文は各製鐵會社とも本年末まで全力を擧げて製造するも猶及ばざる程のものあれば…尙勞力と骸炭とにして得られんには同年末までに多少運轉爐の數を增加するに至るべきなり

獨軍再攻危し
聯軍必ず擊破

▽失敗は歷然　西部戰場激戰二週間の戰績が結局獨軍の失敗に終りたることは爭ふ可からず素より聯合軍は英第五軍の一時的不覺を動機として寧ろ豫想外の地域を棄てたる次第なれども之が爲めに毫も全軍の士氣を阻喪せしむることなく從容として陣形を立直し獨軍の猪突猛進を現在の戰線に於て阻却し得たるは確かに賞讃に値す成功と觀る可し況んや獨軍の損害が聯合軍に比して數倍の多きに達せるをや左ればとて此儘にて攻擊を斷念せんか獨逸は中外に向つて明瞭に其の攻勢の失敗を發言するに均しく獨帝を始め獨軍司令部の到底忍ぶ能はざる處なる可きと同時に國內亦却て或は失望と怨嗟を以て迎へんも未だ知る可らず

▽再攻擊開始　啻に獨逸國內のみならず近來頗に講和熱昂騰して國情の切迫せる墺匈國の如きも獨軍の攻勢愈々失敗なりと判明するに於ては或は離反して單獨講和と云ふが如き態度に出でんも計る可からず彼れを思ひ是れを想へば獨將ヒンデンブルグが失敗に懲りず再度の大攻勢を企畫す可きは當然とも稱す可く最近來の各種電報は孰れも獨軍が更に大に兵力を集中しつゝある事實を傳へ聯合軍側に於ても亦夙く獨軍の再攻を豫期しつゝありたるが果せるかな最近着の佛國公報に依れば獨軍は早くも四日モンチデエの北方グリーヌよりアミアン、ロア街道に到る四里弱の正面に攻擊を開始し以て聯合軍最重要の據點たるアミアンに向つて驀進せんとするの意氣を示せるが如し

▽聯合軍の決意　然れども既報の如く聯合軍亦頻に兵力を集中して獨軍の再攻に備へ而も斷じて擧退しない…一般の人心亦味方の軍隊に信頼して何等の動搖を見ざるが如し而も再攻の獨兵は決して初攻の其れの如く銳鋒ならざる可きに於てをやアミアンを攻略して以て此處に英佛兩軍を中斷せんと欲しつゝある獨軍の再攻作戰は恐らく二度失敗に終る可し切に聯合軍の奮鬪善戰を祈りて後報の到るを待たんとす（六日―京城）

遊支偶錄　蘇峰生
（七四）二重人格

支那人は僞善者にあらず。僞善者の資格の一は、自から二重人格を意識するにあり。詳に言へば、心に思はぬ事を、口に語り、表裏二樣の使ひ分けを、自から承知の上にて、之を行ふにあり。然るに支那人の二重人格は、殆んど先天的にして、彼等は無意識的に之を行ひ得可く、十二分の習慣を有す。乃ち彼等は僞善を行ひつゝ、自から僞善たる事に氣附かぬ也。既に氣附かねば、之を僞善と云ふは、餘りに支那人を、買被りたる判斷と云はざるを得ず。

十二年前、予は支那漫遊の際に、論語讀の論語知らずの法を以て、支那人を解釋する管鍵と語れり。當時支那通の諸氏は、之を激賞して、良に破的の名言となせり。果して名言たるや否やは、姑らく論外として、表裏二樣の使ひ分けは、支那數千年一貫したる、一種の國風民俗也。蓋し支那人は理想を立てゝ、之に嚮向するにあらずして、理想は理想とし、實際は實際とし、截然たる區別を定め、其間寧も交涉せしめざる也。されば其の理想を以て、實際をトすると能はざるのみならず、實際を知らんと欲せば、寧ろ理想の反對を見るに若かず。是れ論語讀の論語知らずの法が、支那人解釋の手近き方便として何人も理想と實際と、合一したるものなし。されど何人も理想を追求せざるものなし。而かも支那に於ては、理想の世界と、實際の世界とは、別個の天地にして、實際が理想の如くならざればとて、寧も疚しき所無きのみならず、良心は實際、理想は理想、互ひに沒交涉にして、唯だ一人にて、此の兩個の世界に住するものと、心得居る迄に過ぎず。彼等が煩悶なく、懊惱なきも、亦た當然也。是れ支那人が、比較的樂天人種たる所以也。

日報詩壇

雪中閑適　西村秋湖
續紛白雪現瓊林。時戀松梢仙鶴吟。濕檻晴光破雲雨。只看天地瑞祥深。
評曰、瑞色四匝、筆亦有祥氣、

盆梅　竹田蕉雨
一塵不汚斐横枝。誇看美人羅袖垂。馥郁花開白如雪。盆中天地自淸奇。
評曰、姿致淸麗、屏絕俗塵、

營業科目
ゴム板類　各種ゴム管　自働車タイヤ　自轉車タイヤ　ゴムベルト　ゴムロール　諸機械用　鐵道用　船舶用　工業用　電氣用　鑛山用　醫術用　其他一切のゴム製品

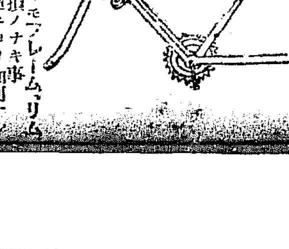
A
ゴムの眞價は
■實際批評以上なり
▲ゴム水枕は渡邊ドクトル發明の 丹印ゴム水枕に限る
▲精米、石鹸、製材、其他製造用には 丹印ゴムベルトに限る
人力車自轉車自働車タイヤは 丹商店製品に限る
■事實は雄辯以上なり
角一ゴム合資會社朝鮮總代理店
角一商店
京城南大門通二丁目二五ノ二 電話六〇九番 振替口座京城三四三番

第十二回新學期開始入會好期特典多し
新會員募集（兩科共一ヶ年卒業 會費一ヶ月六十錢）
日本美術學院
居ながら完全に繪畫の技法を修得せんとする人は來れ、地方に在つて大家の指導を求むる人々は來れ
本院は東洋唯一の完全なる通信美術學校
創立後七年、卒業生二萬八千この夥しき經驗に鑑み技術の上に遺憾なきを期するに此二の遺憾なし
會員の習作は一流の大家自ら添削批評す
西洋畫科
鉛筆畫講義……日本美術院同人 森田恒友
木炭畫講義……東京美術學校教授 和田英作
水彩畫講義……文展審查委員 中澤弘光
油繪講義……白瀧幾之助
風景畫講義……二科會々員 石井柏亭
山岳畫講義……太平洋畫會幹部 丸山晚霞
人物畫講義……鵜島武二
肖像畫……太平洋畫會幹部 高村眞夫
風景畫法……二科會々員 石井柏亭
透視畫法……中京高等師範教諭 板倉賛治
パステル畫法……太平洋畫會幹部 高村眞夫
會員の優作は月刊雜誌に掲げて時代に示し、優作を表彰す
日本畫科
筆法一斑……東京美術學校教授 結城素明
山水畫講義……東京美術學校教授 寺崎廣業
花鳥畫の描法……荒木十畝
歷史風俗畫講義……文展審查委員 松岡映丘?
日本畫史要……
見本規則進呈　希望者は郵便か日本畫か西洋畫かを明記せられよ、但双方請求者は往復郵券
申込所　東京本鄉湯島六丁目　日本美術學院　電話下谷一九七九

品質優良 價格低廉
極東硝子株式會社　本社 兵庫縣尼崎市
朝鮮一手販賣店
協同組商業部　京城府南大門通五丁目　電話長一四三番一七九六
金網入硝子・縞板硝子・磨板硝子・雲板硝子・結晶硝子・雪形硝子

最新刊
佛像の研究　小野玄妙
支那古代史
生命の文學　松浦一
國民的國家總動員　佐藤鋼次郎
日本の獨露の襲來
祝賀弔祭式辭答辭挨拶　大日本雄辯研究會
刀劍鑑定備考　羽皐隱士
著者の見たる太平洋問題　阿部賢治郎
生か死か
白樺の森
英語の學び方
新和英辭典
英文和譯法　南日恒太郎
和文英譯研究　山崎貞
代數解法
化學解
大阪屋號　京城本町　電話六八四　振京城二五七三

上京中の處昨日歸院從前通り診療に從事仕候
四月九日
京城蓬町 電話一二〇一番
二宮醫院　醫學士 二宮亮吉



特許イーグル號
二ヶ年絕對保證附
一、獨特ノ設計ニ…フレーム、リム、タイヤ等ニ破損ノナキ事
一、シートノ構造ニヨリ如何ナル凸凹ノ道路ト雖身體ニ動搖セズ
一、銘前ハトマークフレーム其他名古屋部分品ハ…
一、著名ナル中古部ハ書狀一本ニテ…
大阪ヨリ…
イーグル號製造元
名古屋市西區泥江橋角
野々部自轉車商會　電話六〇五二番

○編修總裁 大隈侯爵・分擔執筆者當代之碩學大家五百卅名（全部十卷）・各卷會費拾壹圓
日本百科大辭典購讀會員募集
萬有の智識整然として茲に集り古今東西の事物一として網羅せられざるはなく眞に世界的百科辭典と稱し得べきは洵に本書を以て嚆矢とす本書二部を備ふれば群小數百の圖書を備ふるより其効果絕大なるべし
會員には第一卷より逐次配本　會費拂込方法は一時・月賦若くは
入會規則書幷內容見本は御申込次第送呈す
申込所　東京市牛込區新小川町二丁目四番地　日本百科大辭典普及會　電話番町四六七五　振替東京三五〇〇〇番

スワン萬年ペン
…本品の輸入…SWANの…
到る所の文具店に…目下最寄販賣店…
大阪東區平野町二丁目　大阪出張所　スワン

○我領事非公式回答

浦鹽過激派より我陸戰隊上陸に對し抗議したるに就き同地駐在帝國總領事より非公式に日本陸戰隊の上陸は市內紊亂の爲め單に邦人保護を目的とするものなる旨を回答し又英國領事よりも同樣の說明を爲せりと傳へらる尙米國は今日迄陸戰隊を上陸せしめず右は上陸反對の爲なりと言ふ說あるも元來日本陸戰隊の上陸は日、英、米、佛四國領事協議の結果なれば今更米國の反對する筈も無かる可く支那政府も軍艦海容を派遣す可しと(東京特電)

○日英軍隊浦鹽上陸と三國代表者の意見

日英兩國軍隊浦鹽上陸の報に接するや露國外務省は直に在莫斯科英佛米三國代表者の來訪を請ひたる上外相代理チチエリン氏は露西亞共和國に對する外國軍隊の侵入に對して抗議を提出し各國が斯かる侵入を看過するは遺憾なりと述べ此事件は露國と協商側各國との關係の上に好ましからざる影響を與ふ可く其結果或は容易ならざる感情の乖離を觀るに至る可しとの意見を開陳せり協商側各代表者は各自本國政府に此露國外相の意見を取次ぐ可しと約し要するに浦鹽事件は純乎たる地方的事件に過ぎずと述べたり佛國代表者は日本今回の行動は全然警邏の問題にて萬一に備へんとする保障手段に過ぎずと說けるが米國代表者は米國政府は日本兵の上陸に反對なりと言へりと報せらる又英國代表者は予の知れる限りに於て英國政府は對外的干渉を敢てするの意見無く且つ浦鹽の軍隊上陸は單なる地方的問題に過ぎずと語へり又各國代表者は我々は日英兩國軍隊の上陸を誘致するに至りし浦鹽に於ける混亂狀態が遠からず終熄す可きを信ずるものなりと云へり(莫斯科來電)

○日本兵上陸對抗策

莫斯科六日發電=日本兵の浦鹽上陸に鑑み人民代表委員會(露國過激派政府)は是れに對し擧つて政治的手段を執ると共に東西伯利亞全勞兵會に對し露國の領土に侵入せんとする外敵に抵抗す可しとの命令を出す可しと(倫敦電報)

○陸戰隊上陸と露紙

ニコライスクの新聞は我が陸戰隊浦鹽上陸に關し大略左の如き社說を掲げ居れり曰く『今後川藤司令官の行動が如何に變化し發展すべきやは不明なるも從來の如く中立的態度を以て露國內政を默視するが如きことは非ざるべしされば我が勞働者等は斷じて當地に於ては他の干渉を誘致するが如き輕擧を爲すべからず露國の政治經濟狀態の甚しく紊亂し居るを自覺し各自眞面目に努力し治安を維持せざるべからず』と(ニコライスク電報)

○浦鹽靜穩に歸す

浦鹽は日英步哨の警戒に據り市中靜穩也、勞兵會は交渉の末自己の步哨を撤退せり尙勞兵會は最早何事も爲し難しと諦めたるものゝ如し(浦鹽電報)

○イ市邦人愈引揚ぐ

イルクツク在留邦人は五日愈々引揚げたりと傳へらるダウリヤ滿洲里を陸行するものなる可し又同地駐在の杉野副領事は尙踏み留る可き乎と(哈爾賓特電)

●日支運輸會議

日支米聯絡[illegible] レー[illegible]交通部秘書衛國垣、京奉鐵路管理局長[illegible]の三氏本邦側[illegible]次で木下運輸局長を議長に推し[illegible]之に對するフォーレー氏の答辭あ[illegible]

(一)運輸事務管理者を決定するの件(鐵道院提出)(二)爲替相場の變動に伴ひ旅客及び手荷物賃金を臨時改正する件(支那側提出)(三)聯絡手荷物に關する稅關規則に關する件(同上)(四)[illegible]日支聯絡運送諸契約書中修正の件(南滿提出)(七)安東稅關に於ける手荷物の[illegible]南府南京漢口新民張家口を追加する件(同上)[illegible]

○武裝俘虜イ市到著

浦鹽にて傳へらるゝ處に據れば最近露都を發したる列車には多數の武裝せる獨墺俘虜乘込み第二回目の分と共に既にイルクツク市に到著せるが第二回目列車には砲八門を積みイ市に下せり又浦鹽附近にある俘虜の數はニコリスク、スパスゴエ、ラストリー、浦鹽等を合せて五千以上に達し無監視にて市中を横行せり市內は平穩なるも獨逸が俘虜を以て軍團を組織せんとするの風說高く其中心はイルクツク市ならんと(浦鹽特電)

○俘虜西部に移送

最近烏蘇里、沿黑龍州に集中の俘虜は萬一日本軍の來襲ある場合は又復俘虜と成る恐れありとし安全地帶に退く可く漸次西方へ移送されつゝありと(哈爾賓特電)

○俘虜赤衞軍に參加

一日チタを通過せる武裝俘虜の數は三千との說確實なる如く其一部はセミヨノフ軍に對抗する赤衞軍に參加し他の一部はブラゴエチエンスクに六日到著せり(哈爾賓特電)

○過激派支那軍砲擊

過激派は滿洲里守備の支那軍隊に對しセミヨノフ軍を解散せしめん事を要求せしに支那軍は六日斷然是れを拒絶したるを以て過激派は同夜支那軍を砲擊せり支那軍は是れに應戰せざりしも戰機既に熟しつゝあるものゝ如し(滿洲里電報)

○獨墺御前會議

獨逸にては御前會議を開き重大事件を討議しつゝあり尙墺太利にても重要問題に就き御前會議開會中なり(倫敦電報)

○米瑞典より船舶借入

米國政府は瑞典と一時的協約を締結し同國より十萬噸の船舶を借り入れたり(紐育電報)

○米國通信檢閲命令

米國政府は今後外國通信員の通信は電報と同樣全部檢閲を爲す可しとの命令を發せり(紐育電報)

○二元老會談

內大臣松方侯爵は九日午前十時四十分參內天機奉伺後內大臣府に入て執務したるが午後一時十五分樞密院議長山縣公爵は參內一應御座所にて天皇陛下に拜謁仰付られたる後松方內府と內大臣官房にて會見要談二時間に亘り午後三時五分退出せり此會見は時局に重要なる關係あるものと觀測されつゝあり(東京特電)

○各植民地長官會議

拓殖局にては各植民地相互間內地と植民地間に於ける植民政策實施上並に事務上の聯絡を保たしむる爲め八日午前十時より同局長室にて植民地長官會議を開きた列席者は拓殖局より有松長官、立花次長、入江、得能、園田三課長、臺灣總督府より下村民政長官、末松財務局長、樺太廳より昌谷長官、朝鮮總督府より鈴木度支部長、等にして當日は主として內地植民地間に於ける產業政策を議題とし農商務省の月田畜產課長より政府の緬羊飼育に關する方針に就き詳細なる說明あり且つ植民地に於ける緬羊飼育に就き協議を爲せるが殊に拓殖局より蒙古視察の爲め派遣したる野津囑託の有益なる報告あり植民地殊に蒙古方面に於て是れが飼育に就きて注意を拂ふ事とし正午休憩午後一時再開道家農務局長出席して米產に關する意見を述べ更に同問題に關して協議せるが我國今日の生產率を以て人口增殖するに於ては將來內地米のみに依り自給自足の途を講ずる事不可能なる可く朝鮮臺灣に於ても此方針を了解し相提攜の方法を講ぜざる可らずと爲ふに一致し午後四時散會せり今後も適當の時機に此集會を催す事となる可しと(東京特電)

○支那鑛業開發と投資團

相互の競爭を禁ず

支那鑛業の關係及び是れに伴ふ投資は從來三井、古河、久原、藤田、三菱、鈴木等に依つて行はれ居りしも其間暗鬪を惹起し大局の不利を招く事あり爲めに鑛業開發の上に不便不利を招くことあるを以て今後は支那鑛業利權に就ては相互の競爭又は拔駈けの功名等を防ぐ爲め相互了解の下に各自其利權の範圍目的を內示し全投資團の協贊を求め大局の利益を圖る事と爲したりと(東京特電)

○山縣政務總監

山縣政務總監は十日午前八時半東京驛發列車にて歸任す可し(東京特電)

○吉林省長北行

郭吉林省長は九日北京より來奉直ちに北行すべし(奉天特電)

○辭令

九日左記の通り辭令あり(東京特電)

陸軍步兵中佐 谷村定規
任步兵大佐
補步兵第七十七聯隊長(平壤)

○米大使館參事官

駐露米國大使館參事官外一名は歸國の途次九日午後六時三十分通過南下せり(安東特電)

○府豫算と事業

京城府に於ける大正七年度歲入出豫算は本月八日附を以て道廳に提出認可申請中なるが右に依れば歲入經常部豫算三十九萬九千五百八十圓同臨時部豫算十三萬五千五百六十三圓合計五十三萬五千百四十三圓にして歲出經常部豫算は三十三萬四百六十三圓同臨時部二十萬四千六百八十一圓合計五十三萬五千百四十三圓を算せり而して本年度に於ける府の主なる事業は本紙の屢々報せし如く下水改修工事にして之れが豫算額は歲出臨時部下水改修費本年度支出額十二萬六百圓にて內清溪川及び支川の改修工事費支出額七萬六千八百圓幹線開渠改修費支出額二萬五千圓維給支出額一萬二千五百十圓需要費支出額一千五百九十圓豫備費支出額五千圓なりと

○赤十字篤志表彰

來る五月二日日本赤十字本社總會開催を機とし左の諸氏は篤志を以て所定の寄附を爲したるに依り會の際有功章授與特別社員推薦發表ある筈なり

△有功章授與並特別社員推薦 全州支部文[illegible]、山[illegible]部西[illegible]利八、同[illegible]德治郞、同吉見ふじ、同武久捨吉、同鳴戶[illegible]、同山中与太郎、同上杉吉太郎、同李圭直、同金時德、同尹[illegible]、同尹相殷、同李永均△春川支部孫[illegible]、同金敦[illegible]、[illegible]△晋州支部許[illegible]、[illegible]、尹相天

○手形拂出百萬

朝鮮銀行小額仕拂手形の鮮滿に於ける拂出しは漸次增加の趨勢にありて八日の所百零一萬九千百五十圓に上れりと

○鮮鐵豫算膨脹

滿鐵京城管理局大正七年度豫算は既に編成を終へ目下總督府に認可申請中なるを以て詳細は知り得ざるも聞く所に依れば物價騰貴の影響を受け一般に經費の膨脹し居れるが之に伴ひ收入に於ても亦增收を見越し居れり今經費膨脹の一例を擧ぐれば支出に於て第一位を占め居れる石炭の如き從來は三年以前の契約に係る比較的安價なる品を使用し居りしも本年度よりは時價を以て契約せざるべからず其の使用量に於ては一昨年迄は十四五萬噸を要せしもの六年度に於ては二十三萬噸內外を要し七年度に於ては更に二十五萬噸を輸入しある程にて原因として船腹不足の爲め隨つて列車の增發に因れるものなり尙鐵道用枕木に就て見るに本年度保存工事に約二十萬丁、[illegible]に約四十萬丁合計六十萬丁を要すべくこれ又一昨年にては一丁八九十錢なりしが六年度に於て一圓一圓三四十錢七年度に於て更に暴騰し目下二圓二三十錢なりつゝある次第なり

○松川中將催宴

駐剳軍司令官松川中將は來る十三日午後七時同官邸に於て晩餐會を催ほし在京城外交團を招待す可し

○東拓植林進捗

成鏡南道並に黃海道に於ける東洋拓殖會社の植林は三月末以來着手中なるが目下の所既に終了の分もあり月末迄に全部を終るべしと

○學校組合新設

洪川學校組合は本月六日其筋より新設を認可せられたるが其の組合區域は江原道洪川郡洪川面の內洪川里外五個里に亘れり

○理科教育研究會

今回伯爵林博太郎氏を會長とし其の他朝野の諸名士より成る理科教育研究會なるもの東京に於て組織設立されたるが右は時局に鑑み理科的智識の普及を圖るにあり事業の主なるものは理科學教授研究會、研究旅行並に機關誌「理科研究」の發行にして事務所は東京神田區猿樂町一丁目十六番地也と

○陸大檢定試驗施行

既報の如く八日午前八時より第十九師團司令部に於て朝鮮駐在現役將校中本年度陸軍大學校入學志願者二十六名に對し山崎大尉立會の上檢定試驗を施行せるが期間は來る十二日迄なり

○グラーベー氏通過

北京駐在露國公使館一等書記官グラーベー氏は九日夜安東より南大門驛通過釜山に直行內地に向へり

○川上東拓理事

退院 東京にて病中なりし川上東拓理事は全癒せしを以て八日退院せし旨東拓支店に通知あり十三四日頃までに東京を出發すべしと

○本木島田二氏出張

京城電氣木本專務島田支配人二氏は八日夜七時五十分發列車にて出發木本氏は九日十日釜山に於て開會の朝鮮電氣協會總會列席のため又島田氏は東京本社と事務打合せの爲め往復約三週間の豫定にて東上せり

○鳥山高等科認可

京畿道鳥山公立普通學校に高等科併置の件は豫ねて學校組合管理者より申請中なりしが四月六日附を以て認可さる

人事消息

△國分三亥氏(第二[illegible]) 九日夜入京朝鮮ホテルへ
△丸山佐四郞氏(警務[illegible]課長) 同上南山[illegible]へ
△[illegible]氏(人參[illegible]) 同上大和[illegible]へ
△今村金三郞氏(東京[illegible]) 同上旭城館へ
△杉山政[illegible]氏(同) 同上
△安藤[illegible]氏(京城通信社長) 內地旅行中の[illegible]九日歸京

◎國百話◎

△露國廢帝の家族は兵卒等と同樣の食料を給與せられてゐるが其の中若干名之れが爲めに遂ひに病氣になつたので侍從の一人が[illegible]を給與せられる事となつたさうだ△失脚後の[illegible]は頗るに寂寥の感ずるまゝ終日讀書に餘念なく漢學者を招いて支那の史書など講ませて居るが古人の政蹟を聞いて會心のところに至ると其處だ其處だと膝を打つさうな△成金の中には多額納稅者の仲間に入るため、所得を附けかけて出した者もあるさうだ、脫稅を企つる者もあれば誤魔化してまで稅を多く拂はうとする者もあり世は樣々である△大阪の鴻池と言へば昔噺にまで長者の代表者と成つて居る位の富豪だが今度は愈々多額納稅者の仲間から落ちたさうである△森林太郎博士の自動車嫌ひは有名だが今度帝室博物館長になつた第一の施設として花時中朝八時から夕六時迄自動車の公園內に入るを嚴禁し大佛殿へ制札を揭げた

◎洋紙又復値上

本邦にては製紙原料パルプは諸材料の騰貴[illegible]

◎晋州短信

三月十日に於ける晋州の[illegible]取引閑散期なる[illegible]萬四百九十二圓貸出二十七萬二千四百六十四圓なりと晋州電燈會社[illegible]

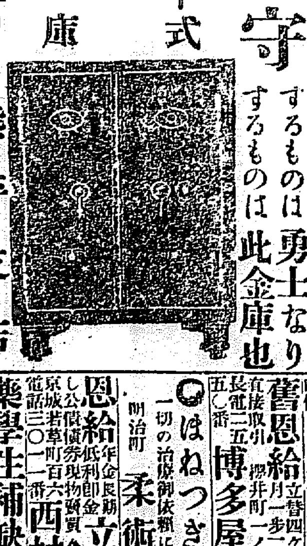
主幹 院長 宮島大八(壹ヶ年完結)
支那語講義錄
詳細は規則書を見よ 但郵券二錢を要す
初號四月廿五日發行 東京麹町區紀尾井町九 善隣書院

時の人
四月號 春にふさはしき青年執筆
(十八錢 稅一錢 半年一圓五錢 一年二圓五錢)
□尾上菊五郞に與ふ……文學士 宮岡生
□邪治郞の藝術……矢野龍渓
◎學博士、セルマ夫人 戀の總勘定……匿名子
◎現代に時めく 帝大三科出の人々……黑田生
◎美人か不美人か 新橋藝者音丸論……
◎忠平か奸平か 三浦觀樹將軍……厚川
□[illegible]は藝術家か □林公使の[illegible]は對支外交の逆轉……
◎平沼檢事總長論……祉論
◎牧野英一博士(大學教授月旦)……文學士 相模源三
□トロッキーの前身 □レッドモント逝く……記者
◎石井大使と內田大使……且也
◎坪內逍遙先生足下……早大生
◎ローシーを後脚で蹴つた原信子孃を……つばめ
□大正政界史上の人物……法學士
□巡査の一家自殺……
發行 時の人社(振替口座東京三三九二三)
營業所 東京市京橋區[illegible]

現代船舶用發動機ノ覇王
特許 第三二八九二 第三三八九號
本機ハ耐久力強クシテ震動微弱新タニ江湖ニ提供シテ一層御滿足ヲ乞フ製作迅速ニシテ如何ナル大馬力ト雖モ其御注文ニ應ズ
最近ノ學理ト實際ヲ加味シテ表ハレタ構造簡單堅牢輕便經濟ニシテ且完全無比

高壓式原油發動機三百廿馬力据附裝置ノ圖
神戶市東尻池町(電話本局長三六八七番)
合名會社 西谷兄弟鐵工所

堅壁なる財產を死守するものは勇士なり 財產を死守するものは此金庫也
竹內ペント式 金庫



京城本町 熊平支店 電話長六二四番 振替京城二一二一五番

鑛區鑛石買入 金、銀、鉛鑛、銅鑛、鐵鑛 右の鑛種に對し適當價格
金鑛石、出鉛鑛石、銀鉛鑛石、銅鑛石、重石、水鉛 右の鑛石多少に不拘買入
鑛山用諸機械器具及鑛石以販賣
京城府御成町七ノ地 正巳鑛業所 熊谷忠直 電話長三二三番

京日案內
貸家 至急讓受たし 周旋す
配達人 至急入用 希望者は本社へ
代診一名 看護婦一名 見習看護婦 入用
貸家 昌德宮日本館
高麗人蔘製劑所
鑛物定量分析 坂元分析所 太平町二丁目 電話長一三四
小供入用 但十五六歲の者希望
店員入用 十七八歲より二十二三歲迄 但し市內に身元保證人要二名 京城本町一丁目 平田商店
仁川仲買店
女給仕 採用す希望者至急申込あれ 京城商業女學校
事務員三名募集 但要紹介
日韓印刷所
鑛物各種分析 松永分析所
舊恩給 立替 博多屋本店
はねつき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場
恩給立替 年金長期低利 京城若草町百六 西村商會
藥學生補缺募集 朝鮮藥學講習所

五日午前十時より鐵道院に於て[illegible]會、出席者は支那側奉天鐵路管理局事務所々長ジエー、イー、フオー[illegible]課長生野團六、調査課長青木治郎、旅客課長岡田意一の諸氏にして野頭中村副總裁の挨拶[illegible]

（一）日支米聯絡運輸を設定し之に日支周遊及日支巡遊に關する事務を併合すること並に聯絡[illegible]の理由に印刷しある旅客賃金を[illegible]白を存し滑き乘車船券發賣の賃金を審入るゝことにせんと[illegible]側の提出なる協同（六）朝鮮銀道を南滿洲鐵道にて委任經理するに至りたる結果（九）日支小荷物運送取扱驛に適用する賃金[illegible]汽船會社參考の上決定す可き[illegible]件（鐵道院提出）[illegible]其擬的の細目に就ては改めて各關係[illegible]く何れ製紙聯合會の一問題となる[illegible]に至るべしと

[illegible]越月せりと[illegible]分銀行支店長は語れり同行月末の帳尻は預金三十八[illegible]案をなし直ちに工事に着手すべし

水温む ―京城神社の神池―

病を秘して
時局重大の際に男の憂慮を憚れ
―議會閉會後床に就き遂に起たず
故後藤男爵夫人の事共
『婦人としての一生は實に幸福なりし』

故後藤内相夫人カズ子は故安場保和男の次女にして明治十六年十八の時内務省衛生局技師たりし後藤男に嫁し

◎內助に力を盡し傍ら英語學校に入學せり明治四十年新渡戸博士夫人萬里子（米人ジヨセフ、エルキントン氏長女）と共に歐米を一年間漫遊せる事あり夫人は萬事几帳面にて家事一切を自ら爲し爲め當時は議會開催中なりし爲め後藤男の

◎憂慮す可きを懼れて强ひて病を秘し閉會後初めて床に就きたる事今回の重態の一因を爲せり『病重るや其長女鐵道院參事鶴見祐輔夫人愛子、佐野醫學博士夫人しづ子等を枕頭に呼び種々家政上の教訓を垂れ尚後藤男に對しては『婦人としての

◎一生は實に幸福にして何事も思ふ爲可き事無し時局多事の際御體大切に願ふ旨を述べ並居る人々をして暗然たらしめしが男が襲きに相馬事件に坐して入獄せる際の如き夫人の心勞は非常なるものにて男の今日有るは夫人に負ふ處尠からず（東京特電）

と思ふ東京朝報を見るも議會開期中内相をして内顧の憂あらしめてはと病を抑して病床に就かなかつた相であるが此を觀ても如何に夫人が女であり乍ら天下國家の觀念に强かつたかゞ窺はれる（某氏の談）

▼後藤男以上の女傑と呼ばれた嚴格な家庭に育つた内相夫人

後藤内相夫人は故安場保和男の長女であるが保和男は人も知る如く横井小楠の高足で大久保甲東に知らるゝに及んで拔擢せられ甲東が内務大臣たりし時は地方長官中最も信任せられた人である役人でありながら

▽國士の風があつて子女教育の如きも嚴格を極めたものである內相夫人は幼時から父君の薫陶を受け四書などで人格を養はれた丈けに道れ女丈夫の風を備へて居た內相と結婚したのは明治十八年で

▽波瀾重疊 幾度か逆境に陷つた內相を助けて今日に至らしめたが彼の相馬事件の際の如き內相は囹圄の身となつて身に一錢の貯へもなく債權者が寄て行ゆる迫害を加へられたにも拘らず些も心を取亂さず內相が

▽困惑其極に達した場合すら『後藤は小心者で困る』と嘆息を洩らして知己をして後藤男以上の女傑だと感せしめた事さへあつた內相の地位が進むに從つていつまでも女大學式の舊思想に囚はれて居つてはならぬと時勢に對し自覺する處あつて海外に遊だ事さへある程で其の進取の氣象の强く雄々しかりし事は確に

▽烈女傳中の婦であらう

◎喇嘛僧の見學

滯京中の喇嘛僧一行は九日朝大倉美術館、海軍造兵廠を訪ひ海軍水交社にて海軍大臣の午餐の招待を受け夫れより芝増上寺に參詣した（東京特電）

◎西伯利亞を危くしてゐる數
‖獨墺俘虜の

[illegible]

一月廿日頃に於ける露國內の收容俘虜は獨逸兵二十萬、墺國兵百五十萬、土耳其兵約十萬、總數

▲約百八十萬と算せられ墺國兵の大部分は歐露に、墺國兵の大部は西伯利にゐた、後者は全く無監視の狀態であつたから脫走も意の儘に行はれ其内バイカル湖以東にはベリヨプツカの二百八十人、ウエルネウヂンスクの八千人、ツロイツコサフスクの八千人、ダウ一リヤの二萬人、チタの一萬人、ブラゴエチエンスクの一千百十四人、ハバロフスクの五千二百六十六人其他を加へて九萬四千八百六十九名ゐた

▲浦鹽附近に はニコリスクに二千百五十七人、スパスコエに三千七百九十六人、クラスナヤレチカに千三百三十五人ゐた、又イルクツク以北のオムスク方面にも同地の千八百人、クラスナヤルスタ一萬七千人、オビ三千人、ボロトーエ一千人、アチンスク一萬人等で

▲カザン方面 にも多數の收容所があつた、以上は判明して居るものゝみで其他に人員不明の所も多かつた、これが目下西伯利亞を危くしつゝある數である

◆手當の率
噂だけでも樂しい

四月一日から朝鮮の官吏にも增俸されるといふ噂だが其れは先づ判任官、判任待遇者、雇員といふ所で增俸と言はずして、手當といふ形式らしい、其の率に就いて噂さるゝ所に依れば判任官は本俸を合はせて現在百圓以上と百圓以下とに兩分し、百圓以上の者には十四圓、更に百圓以下の者を再度二條に分けて十二圓と十圓とを支給し、遞者は本俸二十圓と二十圓以上は九圓二十圓以下は八圓、雇員は全收入の二割五分らしいと、噂だけでも率圓で捩られるよりは樂しいことである

◎我が派遣驅逐隊
四百餘名を救助す

九日海軍省着電＝地中海に出動中の我驅逐隊の一部は與國運送船を護送して航行中三月三十一日夕刻某地點にて敵の一潜水艇の襲擊を受け一隻の運送船は沈沒するに至らざりしも大損害を被りたるを以て某乘船人員四百餘名を救助し一方我驅逐艦は直に潛水艇を攻擊せしも其結果は不明なり（東京特電）

◎肺患に悲觀して振つた遺書
銃無し―海で

[illegible]

朝鮮平安南道陽德郡陽德面下石里內村生れ田井太郎（九）は數年前より肺結核に罹り身體衰弱し服務に堪へざるより本年二月同所を辭し去月末

▽鄕里へ歸る 目的にて元山まで來り同地より知己なる陽德金融組合理事重松高修氏に宛て[illegible]

へ遊びしとて仕方なく自他の[illegible]り今や金錢萬能主義の世智辛き世の中社會の廢物を誰が歡迎し[illegible]鮮地に呻吟し居りたりとて前途に光明を見る[illegible]の決死も[illegible]其の手段を考ふるに[illegible]死は最も見苦しく鐵道は列車を止めて多くの人に迷惑を掛く[illegible]候場所は元山港の[illegible]古里の花を見ずして眠る[illegible]

その遺書到着せしより重松氏は大いに驚き陽德憲兵分遣所に保護を願ひ出たれば同所にて搜査の結果田井は三月二十七日元山釜山間の三等乘船券を買求め同日午後安平丸にて元山を出發し二十九日早朝

▽釜山に上陸 せしことは判明せしもその後の模樣不明なるが多分釜山より船にて鄕里に向ひたるものなるべく商途中何れかにて自殺を企てる處ありとて下關署に保護を願ひ來れり（下關）

お國自慢
九州觀察團の視察する國々

石炭と鐵の福岡
福岡出身某有力者談

福岡縣の誇りと云ふ可きは先づ第一に石炭を擧げねばならぬ日本に於ける石炭の全產額は約二千二百萬噸で其中福岡縣から

◎一千萬噸を產 するといふから素晴らしいものではないか、斯樣に炭坑が多い結果鐵道は縱橫網の如く敷設され今では其の延長哩數は日本一と言はれて居る位であるが市の多い事に於ても又

◆日本一 である、即ち福岡、久留米、門司、小倉、若松、大牟田、八幡等七市の多きに達して居るが此等都會が鑛業工業の發展に伴うて益々人口を增し活況を呈しつゝ有る狀況は必ずや

◎視察の目を 驚かすものがあるであらうと思ふ師團も第十二と十八の二個師團があり大學あり製鐵所あり工業に對する投資も既設と計畫中のものを合して約

◎一億圓 に達し是を大阪の投下資本十二億に比すれば六分の一に過ぬが石炭が豐富であり且つ地の利を占めて居る關係上將來の進歩發展は著しい者ならん

◎支那人夫二百
・先發として過

兼二浦三菱製鐵所使用人夫二百五名は豫て滿洲に於て募集中の處其先發として八日午前一時半列車にて奉天より二百五名半蔗通過兼二浦に向へり（平壤）

◎出資させて娼妓を落籍

本籍山口縣阿武郡萩町當時京城西大門町一丁目綿商青木留一（三）は平素出入先なる本町二丁目の中村十郞を說き製綿業を共同共營せんと勸め青木が事業を受け持ち中村を資金主たらしめ去る一月十日以降に前後二回に資金として九百三十圓を中村より受け取りたる青木は事業には着手せずして此の金を商債務に支拂ひ尚新町遊廓より娼妓を落籍して悉く消費したる爲め中村は告訴を爲し青木は本町署にて取調べの上檢事局送り

◎釜山の水道と降雨
水の歡喜

昨秋以來南鮮方面一帶は降雨尠なき爲め釜山の如きは水源地として聖知谷の二個所あるも甘遊先づ一月に至り遂に涸渇せし爲街來市中への給水は午前中に限られ午後は斷水しゐたる所六日以來の降雨に依り增水を見聖知谷は八日正午三十八尺三寸となり十五尺九寸增加したるが牛[illegible]溜水は六十九尺なるを以て當今後倍以上の增水を見ざる限り斷水を繼續する由又[illegible]見水源地は同地方面給水者少なきため水量八日正午二十五尺六寸に[illegible]達したるを以て向方面のみは斷放[illegible]

◎京城府の出產數
昨年中

[illegible]

◎球根花卉
‖を植込む時が來た‖

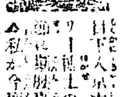
◇大球を選べ 春播類、百花簇く咲き匂ふ此の四月となれば夏秋の間に花を見るべき球根類を植込まねば成らぬ

◇春植の球根類◇ はダリヤ、カンナ、チグリヂヤを始め球根ベゴニヤ、アキメネス、カラヂユームなど種々あるが孰れもなるべく大球を選んで小球などを採らぬが好い球の大きいものは生長も早いし大輪で淋出に咲くが貧生其他特殊の場合を除くの外小球は十分に効果を收め難いのである

◇栽植の土地 日當りがよく風通しがよく[illegible]

◇植込の距離 は深さの二三倍以上五六倍までを普通と定めてあるダリヤの如く極めて繁茂するものは一坪に四五球より植ゑられぬがグラヂオラスなどは深さ四寸、距離七寸ぐらゐが適當である又百合などは深さ四五寸で可いが丈高く延びるので距離は一尺二三寸を保たねば成らぬ、要するに距離や深さは球の大小と丈の高低などを斟酌し密接せぬやう按排するのが肝要である

◇植込んだ後 は輕く土を被せ[illegible]二三日其儘にしておく、若し三四日經つても[illegible]十日前後も經つて球の下より[illegible]一坪に[illegible]



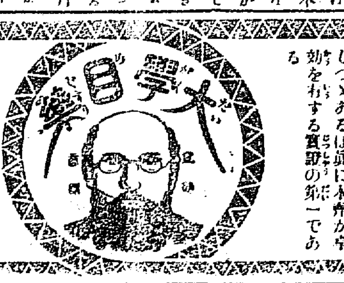
目下入京中の米人ベリー檢士の話の一節に[illegible]

△私が今度日本に向つた前オクラホマの州知事クイリヤム氏は實に喜ぶべき布告を發した△それは毎年クリスマスの日から翌年の一月一日迄州內の囚人を放免すると云ふのである△知事は此布告と共に『お前逹は此の期間を利用して戀しい懷かしい親兄弟に會つて來い、其の代り一月二日には必らず此の監獄に歸つて來て是迄犯した罪を贖はねばならぬぞ』と云ふ訓諭を發して之れを實行した△其の結果は何うであつたか其の中に私は日本に向つて出發せねばならぬ事になつたので此を確かめる事が出來なかつたので止むを得ず知事に對して其結果を日本の方へ知らせて頂き度いと云ふ手紙を出して置いた處ところが今度知事秘書官から其の結果は非常に良好で豫定の一月二日には放免された囚人が一名も歸らざるは無く監獄に歸つて來たと云ふ事である△私は此の報告に接して一種云ふ可からざる感慨に打たれた

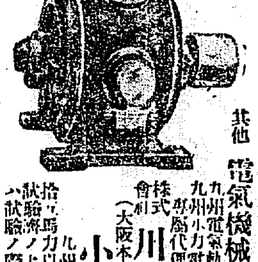
◎給仕募集 內地人少年にして小學校卒業者を採用す希望者は履歷書携帶本人來談す可し（御掛及び給仕係宛）
京城日報社編輯局

◎現代の眞價

現代は科學萬能の時代で凡ゆる事物は總て廣汎に徹細に科學的に研究せらる是を以て如何なる理論も實驗も基礎を科學に置かざるものは其價値を認められぬのである本劑の如きは實に醫學上藥學上各專門家が深く科學的に研究せられたものであつて現在眼科藥中の泰斗たるは遍く世人の熟知する所で寔に現代の眞價を發揮したものである現今國內如何なる僻村解邑の老人小兒に至るまで奇効ある眼病藥として大學目薬を知らざるものなきは即ち本劑の藥効拔群無比なる確證の第一である一般眼科藥として最も獨特猛烈なる効力を有するは一たび試用した者の皆首肯する所で最も稀有にして最も偉効ある藥劑たるは蓋し同効劑中の第一である本劑が支那全國は勿論遠く南洋諸島印度各地更に遠く米國に於ても偉大の信用を博し需用日に月に益す增加しつゝあるは眞に本劑が卓効を有する實證の第一である



大阪市東區北濱二丁目
發行所 合資會社參天堂藥房
電話 本局 千二百四番 / 浪花 千二百五番
十才以下の小兒の爲めに特に小兒用大學目薬あり

川北製 モートル 五十馬力以上二百馬力マデ

其他 電氣機械器具販賣
九州電氣軌道株式會社
九州小力電氣株式會社
專屬代理店
株式會社 川北電氣企業社（大阪本店資本金參百萬圓）
小倉出張所
九州小倉市島町三丁目電話六九〇
拾五馬力以下ノモノハ各電氣會社ニテ試驗濟ノ上納品シ拾五馬力以上ノモノハ試驗ノ際技師立會シ納入ス

◎治療實驗例無代進呈◎
磁氣應用 酸素療法
科學界の泰斗マイケル ファラデー氏發見唱導
オキシパサー
模品あり必ずオキシパサーの名を忘れ給ふな
効力永久にして器械代以外永遠に藥價其他の費用を不要
◎定價金參拾八圓◎
病敵敢て恐るゝに足らず絶大なる殺菌力を有する酸素は大氣中に無限に存在せり。而して此酸素はオキシパサーにより幼者、病者、瀕死の衰弱者も容易に鼻、口及び全身の氣孔より吸收するを得べし。本器の諸病に卓効あることは今や世界識者を驚嘆せしむるに至れり。殊に醫師の不便なる僻地にありては家庭療器として、一器を備へんか以て自家一族を保護すべく進で隣保を安んずるを得ん。乞ふ即刻申込あれ。
東京丸の內
大日本オキシパサー商會
振替口座東京二三八二一番

內科 呼吸器病
腸胃病
小兒科 婦人病
京城若草町大通り
今村醫院
電話一八三三番

櫻御殿

第百九十七回。 大阪 霞の家主人

英雄の涙(四)

逆齋は心に現世の別れを告げて足早やに蹈り掛けると

『それへ參るは誰ぢや』

斯う呼んで樹蔭から現はれたは珍齋であつた、月はまだ出ず、淡い暗が双方の身體を裹む

道齋は聲の調子で、それが珍齋であるのを知り、珍齋の背後に正則の居るのを推量したが、故意と無言のまゝで居た

『誰ぢや〳〵』

珍齋は續いて呼ぶ、そして段々近う寄つた、道齋は『もう此まで』と覺悟して

『手前でござる、道齋でござる』

と答へた

『お、道齋か』

珍齋は事の意外に驚いたらしかつた

『斯うなつては逃げも隱れも致さない、それに大殿樣も在らせられるか』

『在らせられる』と珍齋は同情を籠めた聲で『お身はなく〳〵』

『長の間御苦勞を掛け奉つた、今はたゞ罪科の御裁斷を受けるばかりぢや、御前よきに御執成を願ひ存ずる』

道齋は沈着いた聲で云つた、正則は樹蔭を出る、從來の猟犬が用根を走ると、袖炬火がぴかりと光つた

『珍齋、珍齋』

『は、は』と珍齋は人心地もなく跼る

『委細は聞いた、道齋を取り逃がさぬやうに致せ』

鬧橋までは大分距離があるので、こゝにこんな葛藤の生きた事を、清之丞は知らなかつた、道齋はぴたりと大地に兩手を支いた

『道齋』

正則の聲は百雷の落つる如く鋭かつた

『辯解は致しませぬ、只速かにお處刑仰せ付け下さらば、此れに越した御恩はござりません』

『改めて聞く、清之丞に食事を運んだのは汝か』

『御意にござります』

『であらう』

正則は立つたまゝで云つた、大殿自身の口から、斯うした糺彈を受けるのは、道齋に取つて此上もない名譽である

『事情と申しては恐れ入ります、辯解と申しても恐縮に心得ます、掟を破つて罪人に食事を運んだは家來の身にあるまじき曲事、何の事情がござりませう、何んの辯解がござりませう、されど直々のお尋ね、申し上げねも恐れ多うござります、大恩に背いて重い罪科をかした裏面には、恐れながら報恩の二字が籠つて居ります』

『報恩?、報恩?、恩に背いて恩に報ゆるとは何の事ぢや、明白に云へ、これにて具に聞であらう』

夜風は冷かに、正則の虎髭を吹いて去る、その頭に滴る夜露が、星の光りを宿して落ちる

『おのれ、何の恨みあつて、我等へ對し左樣な當付けがましいことを致すぞ、これよく聞け、清之丞は宥し難い大罪あつて、座敷牢へ押し入れた、それにおのれ……いかなれば食事を運んで、我等側敗の妨げを致すぞ、眞直に云へ、正則直々に聞くであらう』

『有難うござります』

道齋は心から感謝した、袖炬火の光りが正面からぱツと照る、然も道齋の面に、一點の恐怖もなく、また一點の曇りもなかつた

『おのれ、清洲以來の大恩を忘れて、我等の心に背き居つたか』

『恐れながら』と道齋は口を開いて『いかやうのお處刑を受けるとも、お恨みには存じませぬ、また幾念にも心得ませぬ』

『八裂にしても飽き足らぬ奴、御敗は追つての事、先づ事情を聞く

京城本町 千代田號印舖 電話九八九七番

物價調節訓令

たり(東京) 物價の平準を期し其の激騰を防[illegible]需品亦之に伴ひ中産者以下の生計頗る窮迫を來たすに至れり[illegible]自給自足[illegible]つて物價の常準を維持するの覺悟なかるべからず近時米價屢々暴騰の勢を示し[illegible]潤の禍害を惹起するの虞なしと[illegible]せず地方長官宜しく[illegible]

[illegible]總額は六十一億弗にして一昨年に[illegible]の三億七千萬弗にして英國の二億[illegible]すべきは米國參戰以來歐洲の敵地接壤國たる丁抹、和蘭、諾威、瑞典、瑞西等に對し輸出制限を勵行の結果何[illegible]一昨年に比し[illegible]を以て認可ありたり

□春宵集

(一四、六、於風香居)

○蝶の悪戯に挿花の枝を撰る　談村
蝶與莖畦の野生菜花持てり
○花菜匂ふ風にも木戸蝶の瑩　梧亭
蝶日中か臼踏む男つんぼ哉
○蝶の瑩皿に箱樋の水勢見る　瓜青
蝶の日長け雨乾燥む畑菜哉
蝶日風若木影土に泳ぎ居り

□湖南吟社例會

大田 七四、六於風香館

課題 梨花 松の緑 蠅生る 囀 摘み草

御手植の札の古びや緑立つ　不倒
囀や筆擱て稿讀み返す　同
摘草や小川挾みて泣く姉妹　同
休耕の畑草摘むに任せ晃　同
梨花に燒く女文字なる古書信　同
月の韓里に破れて梨の花　同
病牛の糧の盛りや春の蠅　同
庖厨の水の捨場や早蠅たつ　同
奇石あり庭這ふ松の緑哉　旧月
山の尾の巖に松の緑かな　同
彈丸痕の揃たつ松の緑哉　月波
囀や動物園の獅子眠る　同
新合に標札うつや梨花の門　同
屏つゝく大盤村や梨の花　同
皮なめす車の軸や春の蠅　同
福湖に引く一山や若みどり　十亭
王化尙ほ孤村に遠く囀れり　同
摘草野日暮す京の灯を望む　同
摘草や落して來にし毬袋　同
月は欄に梨花淡う散らふ女香　同
梨咲くや夕雨に秘苑鶏默す　同
魚腸積む濱端の日や蠅生る　同

●正誤 (桂堂居句會の句中)
春の水山を隔て、隣に光る　静軒
鍬かたげて畑打つ人の手を去れり　同

皮膚科 皮膚病 黴毒 痳病 膀胱病 生殖器 機能障碍
京城明治町二丁目 佐藤醫院 電話一七一三番
入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄

中山化學研究所完成品發賣 化粧品總本店中山太陽堂が夙に中山化學研究所を設立して多數の學者を聘し我が化粧界に多大の貢獻を與へつゝあるは普く世人の知る處なるが其の研究完成品は今や積んで[illegible]

新刊紹介 (到著順)

▲スネーク(四ノ四) 有馬武郎、川上澄、舟橋聖一、大沼[illegible]、石本[illegible]、武田[illegible]、小原野花生、[illegible]介氏等の評論、創作、日記、感想和歌等を載す(二十錢東京麹町上六番町四三湖會)

▲青年(六ノ四) 出兵問題(千賀[illegible]博士)[illegible]問題(三十名家)自殺我觀(高島[illegible])[illegible]の版畫(金瓶女史)[illegible](二十錢東京本郷駒込[illegible]町三三八[illegible]社)

▲朝鮮鑛業會誌(タングステン號) 本號は日[illegible]より多く鈴木理學博士、渡邊工學博士、[illegible]の他の鑛業に關する有益なる[illegible]タングステンに關する學説[illegible](四十錢京城南山町[illegible])

▲戰友(九四) 在郷軍人會の機關紙にしてシベリア[illegible](七錢東京[illegible])

▲實業界(婦人客吸引の研究號) 米國土産[illegible]

▲亞細亞時論 西伯利亞[illegible]

▲帝國青年(四月號) 十二錢東京麹町區[illegible]

▲農業雜誌 四月號 十錢東京[illegible]

▲論の友 三の四 十五錢東京麹町區飯田町三の九能[illegible]社

▲獨逸語靑年(四月號) 二十錢東京本郷[illegible]町三四北社

▲露業新報(三〇二) 十八錢東京日本橋[illegible]町十四共社

人蔘エキス 京城本町壹●電話一四八〇番 一八七〇番 津村兄弟商會

諸者の領分

▲五日の夜南大門驛前で東大門行の電車を待つてゐる[illegible]

▲[illegible]

煙草!珈琲!心配無理な勉學!不眠に殆んど腦を破壞せし某大學卒業生の自白

或る大學の大學生が其の次の樣な事を云ふて居たことがある。余は少年の時から强壯で血色も能く頭腦明晰で何事も忘れた事はない、通人からは、おまへは袋耳だ活字引だと云はれた、中學時代からポツ〳〵煙草を喫み初めた、又勉强の傍ら毎日三回宛一盃のコーヒーを飲んだそれが習慣となりて煙草が止められぬ、高等學校へ行く樣になつてからは大變身體の樣子が變つて來た夜は安く眠られなくなつた、騙ける事は負けないと自慢して居つた僕が今や平生の半分の道も呼吸を繼がなければ走れない樣になつた、快活な性質が消え去つて意氣くず[illegible]過敏に又根氣なくなつた、冷靜に物を考へる事も出來ぬ月まゐはする、頭痛はする頭がいつもなる肩は凝る[illegible]しくなく又聞いても面白くない精神は日々に衰へて不愉快で溜まらぬ厭で〳〵たまらなくなつた、死んでしまうかしらんと思つたこんな狀態が續いた余は全く失心して居つたのか其理由を知らなんだそこで自分は[illegible]の病氣が治つたとか、いろ〳〵な事を云ふて居る藥を飲んだ處が何んの効もなかつた、終には某博士の診察を乞ふたところが、余に煙草、コーヒー、房事、無理な勉强を止めよと話して呉れたそこで病氣は何か訪ねたところが、それは腦病[illegible]神經衰弱、婦人ならヒステリーの重いのだとのことであつた。そこで余は[illegible]醫學博士の[illegible]大家の賞讃措かざる健腦良劑レベンを用ひしに、ありふれた下劑的の一時押への藥でなく、全く本道の一時押への藥でなく、根本的に腦の衰弱を治す[illegible]

余は健全な體となり[illegible]世間若し腦神經衰弱を患ふる人あらば[illegible]弱を療法であると信じます」云々と[illegible]如し之は[illegible]

療法『健腦法』と[illegible]希望者に無代進呈す[illegible]東京市[illegible]中南定太郎へ申込あれ

人に嫌はれるわきがは出世の大敵

腋臭は他人の鼻へは幾層倍も强く臭い惡臭を與へて人には迷惑を掛ける故排斥されて處世上大損大不幸なり一日も早く全治をはかるべきである腋臭を治すに身體に障るなどと云ひ其儘で居るは悲しむべき迷信なり今日只今決心して惡臭を一掃せよされば切開も何も入らぬ最近的始息藥にては生涯治らぬ最近順天堂で成功發表されたる腋臭自宅療法を實行せば目下人體の生れ狀態にも變化ある時なれば奏効一層確實である一刻も早く此の恩惠に浴すべくハガキで東京本郷天堂第一部へ問合せせば無料で回答される

男の生殖器病

專賣特許 眞空療法器を自宅で簡單秘密に使用せば生殖器發育不完全、包莖、早漏、陰萎、遺精、腦神經衰弱、慢性淋病等は容易に治す二大醫學博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃ヽが如しハガキで申込めれ非賣品圖入說明書を無代封送す

東京神田小川町五十番 電話神田七二三番 眞空療法研究所

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 電話二六〇一八番 酒井婦人病院 院長 酒井一郎

GOSPEL 男女 強壯劑 ゴスペール

陰萎にゴスペール本劑は肉體の營養强健を主眼とし植物性補腎劑にして其主効は生殖器神經に作用し左記生殖器障害に試し上有力なる陰萎增勢藥なり今直に用ひ一回用試僅二錠

神經衰弱 性陰萎 精神的陰萎 衰弱性 射精・早漏・夢精・遺精

(藥價)九錠入金一圓 ◎卅一錠入二圓 ◎六十三錠入五圓九十錢 ◎百廿六錠入十圓

發賣元 東京市下谷區[illegible] 竹島製劑所 吉田萬珠堂

イケダ小兒病内科醫院 京城三越吳服店前(入る)旭町四丁目 電話(醫院一二三〇番 自宅三〇〇番) 池田季雄

能く賣れる ひるなきもり 效能 一遊上を[illegible]下げ便通をよくし梅毒其他諸毒を下す 大阪高津[illegible] 伊藤長兵衞

朝鮮總督府 購買入札 民籍用紙二百七十萬枚 右購買入札詳細ハ四月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

織物界に五割安 元多物織仕販投資の一策として小資利より五割安二回販賣開始 兵兒帶 武圓五十錢 人造銘仙 大中一六圓 縞銘仙 五圓五十錢 ◎[illegible]

產地直賣 小利賣り 五割安

セル 大中染色地質堅牢 八十錢 注文 申込ハガキ

桐生織物賣捌所

事務服(和洋服兩用) 黑毛朱子製 金四圓四拾錢也 黑褐城製 金三圓四拾錢也 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

目まい 立ぐらみ 腹いた 急病、流行病の特効藥 萬病感應丸 大阪 本舖 正野法橋玄三 販賣店は全國有名各藥店

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千貳百貳拾萬圓 總預金 貳億貳千六百萬圓 株式會社 第一銀行京城支店 支配人 西村道彦 京城府本町二丁目(振替貯金口座京城一一番 電話二番六二番三二七番)

銚子港 田中玄蕃釀造 ヒゲタ醬油 代理店 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番

瀨戸外科皮膚科醫院 京城旭町二丁目(信三丁目) 電話二四九八番 醫學士 瀨戸潔 (診察夜九時迄)

洋服、オバー、ゴート、長トンビ調製 見本地質定價表御申越次第御送付可致候 京城太平通 振替三〇〇 京城日報代理部

京城龍山等各地に偽物有御注意

百圓 呈進 りん病 ばい毒 大阪 ドラッグ商會

帝國醫科大學病院 百圓進呈 分析料

にせ物 にせ物と好商 大阪有田 南大門外 大ドラッグ商會 大阪 三休橋 大阪 グッラド 京城南大門外停車場通

日本郵船出帆 (仁川)

大阪行、天津行 相模丸 四月二十日 三河丸 四月十一日 高砂丸 四月三十日 正午出帆

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

神戶大阪行 仁川出帆 須磨丸 四月十六日 後五時出帆 ...

[illegible]

釜山出帆廣告

尼崎汽船 仁川出帆

共同汽船 仁川出帆

朝鮮郵船

[illegible]